

令和3年度 3か年事務事業戦略シート

基本計画					
節	テーマ	施策	展開	テーマ名	施策名
3	1	1	2	農林業	生産基盤の整備
実施計画事業名					
農道整備事業					

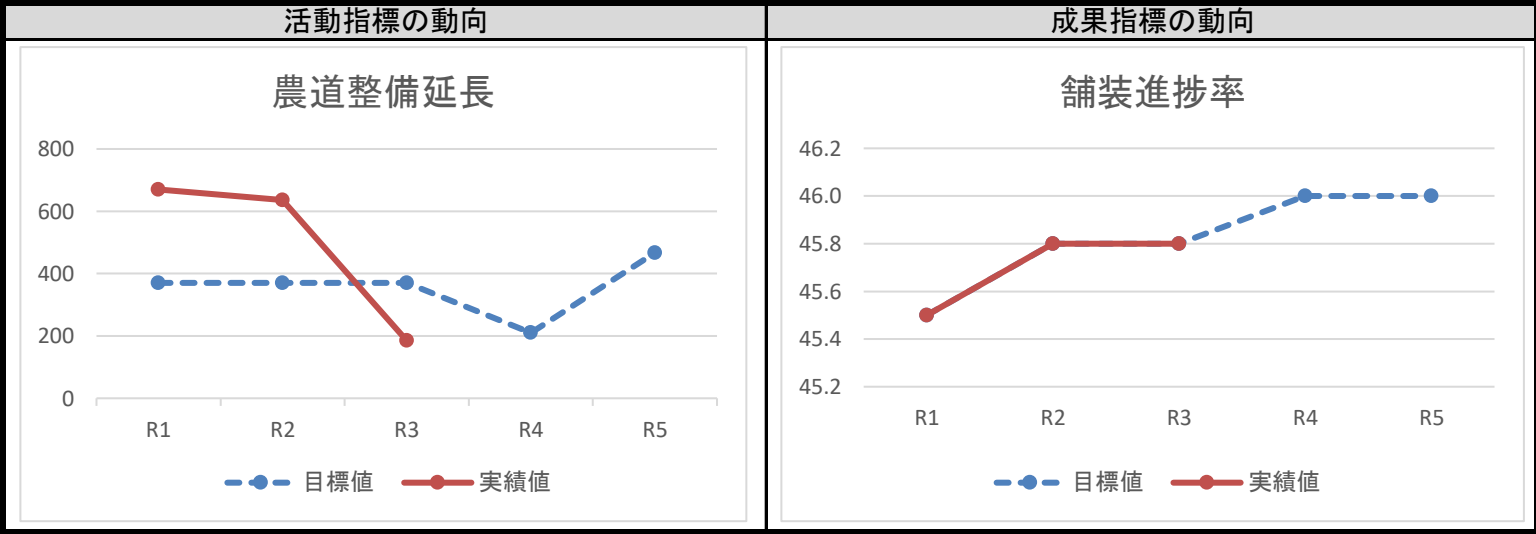
予算科目				
款	項	目	事	事業名
5	01	03	05	農道整備事業
担当課・係等				
農政課基盤整備係				

実施計画整理番号	
301010201	
総合戦略 整理番号	

事務事業の概要 (PLAN)	事業の目標・目的(誰・何をどのような状態にするか)	主な活動内容(目標を達成するために何を行うか)
	農業者及び農道利用者の利便性が向上されることで、農作業の省力化や生産性の向上が図られる。	幹線道路の早期整備と支線道路の舗装を推進するとともに、既存農道の適正な維持管理に努める。
	基本計画への寄与(基本計画の施策等の推進にどのように寄与しているか)	
	農業生産者の減少と高齢化による人材不足が喫緊の課題となっており、耕作放棄地の増加を招いている。農道整備を実施することで、農作業の省力化や生産性の向上など、農業経営の改善を図ることで営農意欲が高まり、ひいては施策「生産基盤の整備」に寄与する。	

投入される行政コスト (DO)	区分		令和3年度			令和4年度			令和5年度		
		単位	計画	予算	決算	計画	予算	決算	計画	予算	決算
	事業費		千円	5,157	13,599	13,428	5,157				
	財源内訳	国補助	千円								
		県補助	千円								
		市債	千円								
		その他	千円								
		一般財源	千円	5,157	13,599	13,428	5,157				
	人工数		人	0.15							
	人件費		千円	1,135							

手 段(DO)	活動指標	単位	2年度	3年度	4年度	5年度	
幹線道路の早期整備と支線道路の舗装を推進するとともに、既存農道の適正な維持管理に努める。	農道整備延長	m	目標値	370	370	210	467
			実績値	635.6	185		
	舗装面積	㎡	目標値	875	814	630	1,273
			実績値	593	387		
成 果	成果指標	単位	2年度	3年度	4年度	5年度	
農作業の省力化や生産性の向上など、農業経営の改善を図り営農意欲を高める。	要望に対する舗装進捗率	%	目標値	45.8	45.8	46.0	46.0
			実績値	45.8	45.8		



令和3年度 3か年事務事業戦略シート

基本計画					予算科目					整理番号
節	テーマ	施策	展開	実施計画事業名	款	項	目	事	事業名	
3	1	1	2	農道整備事業	5	01	03	05	農道整備事業	301010201

課題抽出（CHECK）

活動内容と成果（具体的に何をしたか、どのような実績があったか）

・繰越工事もあり、目標通りの成果が得られなかったが、農道について185m延長、387㎡舗装を実施した。

・地元自治会や関係者への説明・協議を行っている。

必要性の評価

有効性の評価

効率性の評価

B: 必要性が認められる

B: 有効性が認められる

B: 効率性が認められる

総合評価

B: ある程度の成果を挙げた（目標・目的を概ね達成している）

分析・評価（活動してどのような課題があったか）

・整備要望が多い中で、路線の重要性、利用頻度等を考慮し、適切な事業実施に努める必要がある。

・引き続きコスト削減が図られるよう努める必要がある。

今後の方向性（ACTION）

事業の方向性

改善・改革の手法

B: 事業の実施方法やコスト等について改善が必要

①業務の整理・統合・集約化

課題を解決する具体的な取組（具体的にどのような考え方で、課題を解決していくのか）

路線の重要性、利用頻度等を考慮し、適切な事業実施に努めていく。

企画政策課の評価

評価理由

B

A: 計画どおり事業継続が
適当
B: 事業改善の検討が必要
C: 事業の休止・廃止の検
討が必要
D: 事業終了が適当

農作業の省力化や生産性の向上が図られる事業と認められる。引き続
き、関係者のニーズを把握するとともに、より効果的で適切な事業実施
に努めていただきたい。

令和3年度 3か年事務事業戦略シート

基本計画					
節	テーマ	施策	展開	テーマ名	施策名
3	1	1	3	農林業	生産基盤の整備
実施計画事業名					
用排水施設整備事業					

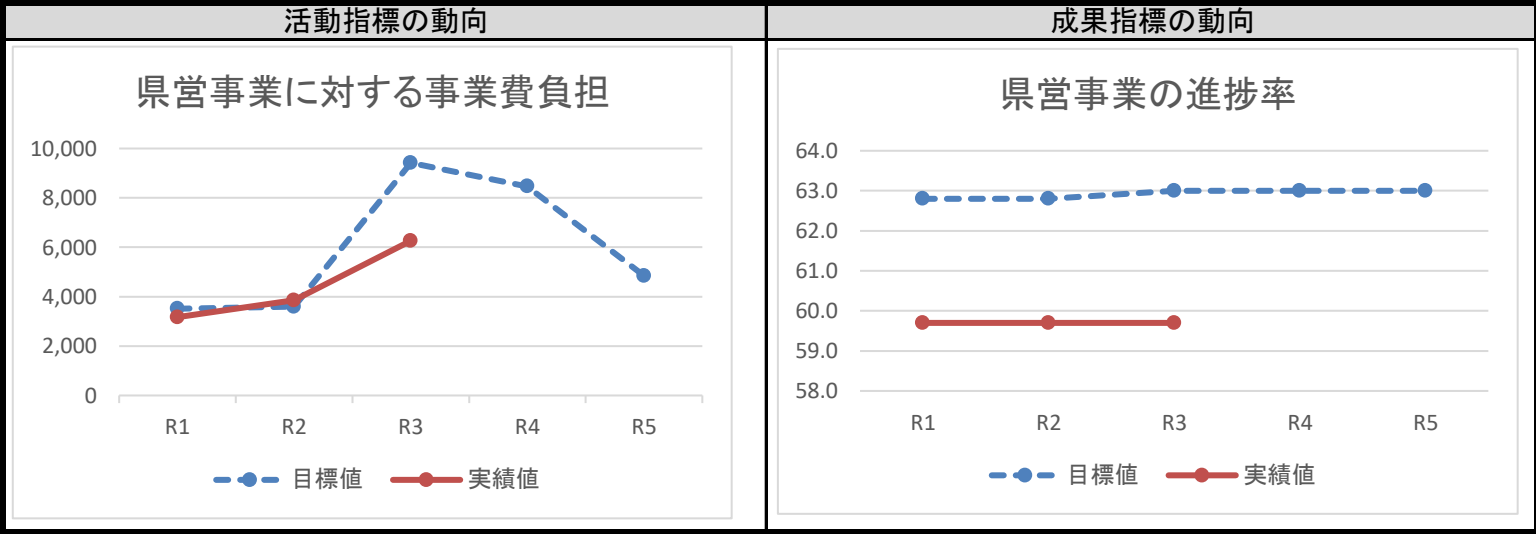
予算科目				
款	項	目	事	事業名
5	01	05	01	用排水施設整備事業
担当課・係等				
農政課基盤整備係				

実施計画整理番号	
301010301	
総合戦略 整理番号	

事務事業の概要（PLAN）	事業の目標・目的（誰・何をどのような状態にするか）	主な活動内容（目標を達成するために何を行うか）
	受益農家に対し、湛水被害の解消と維持管理の軽減を図る。また、安定した用水を供給することにより、農業経営の安定を図る。	農業施設の新設及び改修を行う県営事業に対し、事業費の負担をする。
	基本計画への寄与（基本計画の施策等の推進にどのように寄与しているか）	
	土地改良事業への理解と農業基盤の強化に取り組んでいるが、農業用排水路やため池が老朽化しており、早期整備が課題となっている。用排水施設整備事業を実施することで、農作業の省力化や生産性の向上など、農業経営の改善を図ることで営農意欲が高まり、ひいては施策「生産基盤の整備」に寄与する。	

投入される行政コスト(DO)	区分		令和3年度			令和4年度			令和5年度		
			計画	予算	決算	計画	予算	決算	計画	予算	決算
	事業費		千円	37,676	47,253	41,705	43,458				
	財源内訳	国補助	千円								
		県補助	千円								
		市債	千円	18,400	18,400	12,800	29,600				
		その他	千円								
		一般財源	千円	19,276	28,853	28,905	13,858				
	人工数		人	2.21							
	人件費		千円	16,242							

手 段(DO)	活動指標	単位	2年度	3年度	4年度	5年度
・県営事業の整備促進を図るため、事業費負担を実施する。 ・用排水施設整備を実施する。	県営事業に対する事業費負担	円	目標値 3,592	6,417	8,466	4,842
			実績値 3,856	6,261		
	用排水施設整備の件数	件	目標値 3	2	2	1
			実績値 8	9		
成 果	成果指標	単位	2年度	3年度	4年度	5年度
安定した用水を供給することにより農業経営の安定を図る。	県営かんがい排水事業の進捗率(両総茂原南地区)	%	目標値 62.8	63.0	63.0	63.0
			実績値 59.7	59.7		



令和3年度 3か年事務事業戦略シート

基本計画					予算科目					整理番号
節	テーマ	施策	展開	実施計画事業名	款	項	目	事	事業名	
3	1	1	3	用排水施設整備事業	5	01	05	01	用排水施設整備事業	301010301

課題抽出（CHECK）

活動内容と成果（具体的に何をしたか、どのような実績があったか）

- ・県営事業の整備促進のため事業費負担を実施し、用排水施設整備を9件行った。
- ・地元自治会や関係者への説明・協議を行っている。

必要性の評価	有効性の評価	効率性の評価
A: 必要性が高い	A: 有効性が高い	A: 効率性が高い

総合評価

B: ある程度の成果を挙げた（目標・目的を概ね達成している）

分析・評価（活動してどのような課題があったか）

- ・農業用施設の整備には多額の費用を要することから、計画的な事業実施に努める必要がある。
- ・引き続き、県営事業や国の交付金を活用することでコスト縮減を図る必要がある。

今後の方向性（ACTION）

事業の方向性	改善・改革の手法
B: 事業の実施方法やコスト等について改善が必要	⑤更なる事業の推進

課題を解決する具体的な取組（具体的にどのような考え方で、課題を解決していくのか）

農業用施設の整備には多額の費用を要することから、計画的な事業実施に努める必要がある。

企画政策課の評価	評価理由
B A: 計画どおり事業継続が 適当 B: 事業改善の検討が必要 C: 事業の休止・廃止の検 討が必要 D: 事業終了が適当	安定した用水を供給することにより、農業経営の安定が図られる事業と認められる。引き続き、関係機関との連携により計画的かつより効果的な事業実施に努めていただきたい。

令和3年度 3か年事務事業戦略シート

基本計画					
節	テーマ	施策	展開	テーマ名	施策名
3	1	1	3	農林業	生産基盤の整備
実施計画事業名					
用排水施設維持管理費					

予算科目				
款	項	目	事	事業名
5	01	03	06	用排水施設維持管理費
担当課・係等				
農政課基盤整備係				

実施計画整理番号	
301010302	
総合戦略 整理番号	

事務事業の概要 (PLAN)	事業の目標・目的(誰・何をどのような状態にするか)	主な活動内容(目標を達成するために何を行うか)
	土地改良区・水利組合・自治会等の共同施行者が管理する農業用施設の維持管理費に対し、地元施行者の軽減を図り、農業基盤の安定を図る。	地元施工による農業用施設の維持管理費に対し、補助金を交付する。
	基本計画への寄与(基本計画の施策等の推進にどのように寄与しているか)	
	土地改良事業への理解と農業基盤の強化に取り組んでいるが、農業用排水路やため池が老朽化しており、早期整備が課題となっている。地元施工による農業用施設の維持管理費に対し、補助金を交付することで、農作業の省力化や生産性の向上など、農業経営の改善を図ることで営農意欲が高まり、ひいては施策「生産基盤の整備」に寄与する。	

投入される行政コスト (DO)	区分		令和3年度			令和4年度			令和5年度		
			計画	予算	決算	計画	予算	決算	計画	予算	決算
	事業費		千円	59,236	61,856	57,801	90,651				
	財源内訳	国補助	千円								
		県補助	千円	25,203	24,575	24,575	48,953				
		市債	千円								
		その他	千円	12,689	12,689	11,675	16,627				
		一般財源	千円	21,344	24,592	21,551	25,071				
	人工数		人	1.07							
	人件費		千円	7,621							

手 段(DO)	活動指標	単位	2年度	3年度	4年度	5年度																		
土地改良区・水利組合・自治会等の共同施工者が管理する農業用施設の維持管理に対し、地元施工者の軽減を図るため、地元施工による農業用施設の維持管理に対し、補助金を交付する。			目標値																					
			実績値																					
			目標値																					
			実績値																					
成 果	成果指標	単位	2年度	3年度	4年度	5年度																		
農業用施設の維持管理費に対し、地元施行者の軽減を図り、農業基盤の安定を図る。	安定が図られた施設数	箇所	目標値	64	64	64																		
			実績値	69	66																			
活動指標の動向			成果指標の動向																					
			安定が図られた施設数 <table><tr><th>年度</th><th>目標値</th><th>実績値</th></tr><tr><td>R1</td><td>64</td><td>65</td></tr><tr><td>R2</td><td>64</td><td>69</td></tr><tr><td>R3</td><td>64</td><td>66</td></tr><tr><td>R4</td><td>64</td><td></td></tr><tr><td>R5</td><td>64</td><td></td></tr></table>				年度	目標値	実績値	R1	64	65	R2	64	69	R3	64	66	R4	64		R5	64	
年度	目標値	実績値																						
R1	64	65																						
R2	64	69																						
R3	64	66																						
R4	64																							
R5	64																							

令和3年度 3か年事務事業戦略シート

基本計画					予算科目					整理番号
節	テーマ	施策	展開	実施計画事業名	款	項	目	事	事業名	301010302
3	1	1	3	用排水施設維持管理費	5	01	03	06	用排水施設維持管理費	

課題抽出（CHECK）

活動内容と成果（具体的に何をしたか、どのような実績があったか）

- ・地元施工による農業用施設66か所について、維持管理に対する補助を実施した。
- ・地元自治会や関係者への説明・協議を行っている。

必要性の評価

有効性の評価

効率性の評価

A: 必要性が高い

A: 有効性が高い

A: 効率性が高い

総合評価

B: ある程度の成果を挙げた（目標・目的を概ね達成している）

分析・評価（活動してどのような課題があったか）

- ・今後も老朽化施設の増加に伴うコスト増が予想される。

今後の方向性（ACTION）

事業の方向性

改善・改革の手法

B: 事業の実施方法やコスト等について改善が必要

⑤更なる事業の推進

課題を解決する具体的な取組（具体的にどのような考え方で、課題を解決していくのか）

引き続き、適切な補助金交付により農業基盤の安定を図っていく。

企画政策課の評価

評価理由

B

A: 計画どおり事業継続が
適当

B: 事業改善の検討が必要

C: 事業の休止・廃止の検
討が必要

D: 事業終了が適当

地元施工者の軽減されることで、農業基盤の安定が図られる事業と認められる。引き続き、関係機関との協議により、効果的に事業実施を図るとともに、適切な補助金交付に努めていただきたい。

令和3年度 3か年事務事業戦略シート

基本計画					
節	テーマ	施策	展開	テーマ名	施策名
3	1	2	1	農林業	農地の確保
実施計画事業名					
耕作放棄地再生推進事業					

予算科目				
款	項	目	事	事業名
5	01	03	12	耕作放棄地再生推進事業
担当課・係等				
農政課農地保全係				

実施計画整理番号	
301020101	
総合戦略 整理番号	

事務事業の概要（PLAN）	事業の目標・目的（誰・何をどのような状態にするか）	主な活動内容（目標を達成するために何を行うか）
	増加傾向にある耕作放棄地の対策として、再生作業の取組を支援することで耕作放棄地の活用を図り、耕地面積の維持に努める。	・耕作放棄地所有者に対し草刈り依頼通知を行う。 ・ほ場整備のための機会購入等に補助金を交付する。 ・新たな担い手となる農家の掘り起こしを行う。
	基本計画への寄与（基本計画の施策等の推進にどのように寄与しているか）	
	土地持ち非農家や高齢化に伴う離農者の増加に伴い、耕作放棄地が増加傾向にある。認定農業者等への働き掛けによる耕作放棄地の解消、活用方法の検討を行うことで、耕作面積の維持につなげ、ひいては施策「農地の確保」に寄与する。	

投入される行政コスト (DO)	区分		令和3年度			令和4年度			令和5年度		
		単位	計画	予算	決算	計画	予算	決算	計画	予算	決算
	事業費		千円	1,240	1,240	991					
	財源内訳	国補助	千円								
		県補助	千円	826	826	637					
		市債	千円								
		その他	千円								
		一般財源	千円	414	414	354					
	人工数		人	0.5							
	人件費		千円	2,836							

手 段(DO)	活動指標	単位	2年度	3年度	4年度	5年度																		
耕作放棄地と化している農地は解消のため草刈り依頼通知を行い、また、農地中間管理機構を通じて新たな担い手となる農家の掘り起しを行い、耕作地を増加させる。			目標値																					
			実績値																					
			目標値																					
			実績値																					
成 果	成果指標	単位	2年度	3年度	4年度	5年度																		
遊休農地を減少させ、農地として再生させる。	遊休農地面積	ha	目標値	300	減少を目指します	減少を目指します	減少を目指します																	
			実績値	351	341.1																			
活動指標の動向			成果指標の動向																					
			遊休農地面積 <table><tr><th>年度</th><th>目標値</th><th>実績値</th></tr><tr><td>R1</td><td>300</td><td>351</td></tr><tr><td>R2</td><td>300</td><td>341.1</td></tr><tr><td>R3</td><td>300</td><td></td></tr><tr><td>R4</td><td>300</td><td></td></tr><tr><td>R5</td><td>300</td><td></td></tr></table>				年度	目標値	実績値	R1	300	351	R2	300	341.1	R3	300		R4	300		R5	300	
年度	目標値	実績値																						
R1	300	351																						
R2	300	341.1																						
R3	300																							
R4	300																							
R5	300																							

令和3年度 3か年事務事業戦略シート

基本計画					予算科目					整理番号
節	テーマ	施策	展開	実施計画事業名	款	項	目	事	事業名	
3	1	2	1	耕作放棄地再生推進事業	5	01	03	12	耕作放棄地再生推進事業	301020101

課題抽出 (CHECK)	活動内容と成果(具体的に何をしたか、どのような実績があったか)		
	農地中間管理事業や圃場整備を行うための農業用機械購入の補助事業、耕作放棄地を改善し農地へと再生させ営農する耕作放棄地再生推進事業に取り組んだ。 R3の農地中間管理事業では、貸付け農地面積が11.3haとなった。 R3の耕作放棄地再生推進事業の実績として、約1.12haの農地が再生された。		
	必要性の評価	有効性の評価	効率性の評価
	A: 必要性が高い	A: 有効性が高い	A: 効率性が高い
	総合評価		
	B: ある程度の成果を挙げた(目標・目的を概ね達成している)		
	分析・評価(活動してどのような課題があったか)		
	・耕作放棄地を再生するにあたっては、大きな労力を要するため、取り組んでくれる人の確保が難しい。 ・農業を行っていくうえでのメリットを増やすため、収益の上がる取り組みを市として行っていく必要がある。		

今後の方向性 (ACTION)	事業の方向性		改善・改革の手法	
	D: 事業終了年度に達した		⑤更なる事業の推進	
	課題を解決する具体的な取組(具体的にどのような考え方で、課題を解決していくのか)			
	耕作放棄地を再生させるための事業に手厚い補助をする。			
	企画政策課の評価		評価理由	
	D	A: 計画どおり事業継続が 適当 B: 事業改善の検討が必要 C: 事業の休止・廃止の検討が必要 D: 事業終了が適当	耕作放棄地の活用を図り、耕地面積の維持につながる事業と認められる。本事業としては終了年度に達したが、引き続き耕作放棄地の解消は必要かつ重要な課題と判断できるため、関係機関との連携を図りながらより効果的な事業の調査・検討に努めていただきたい。	

令和3年度 3か年事務事業戦略シート

基本計画					
節	テーマ	施策	展開	テーマ名	施策名
3	1	2	2	農林業	農地の確保
実施計画事業名					
農業経営基盤強化促進事業					

予算科目				
款	項	目	事	事業名
5	01	03	02	農業経営基盤強化促進事業
担当課・係等				
農政課農地保全係				

実施計画整理番号	
301020201	
総合戦略 整理番号	

事務事業の概要 (PLAN)	事業の目標・目的(誰・何をどのような状態にするか)	主な活動内容(目標を達成するために何を行うか)
	農地中間管理機構を利用して農地の集積・集約を推進することで、耕作放棄地の発生抑制が図られ、農地の保全につなげる。	・茂原市農業振興地域整備促進協議会を開催し整備計画変更協議をする。 ・農地中間管理機構を利用した者に対して協力金を交付する。 ・担い手への利子補給を行う。
	基本計画への寄与(基本計画の施策等の推進にどのように寄与しているか) 農業生産者の減少と高齢化による人材不足が喫緊の課題となっており、耕作放棄地の増加を招いている。農地中間管理事業を実施することで、農地の集積・集約が図られ、農業経営の基盤強化を促進し営農意欲が高まり、ひいては施策「農地の確保」に寄与する。	

投入される行政コスト(DO)	区分		令和3年度			令和4年度			令和5年度		
		単位	計画	予算	決算	計画	予算	決算	計画	予算	決算
	事業費		千円	1,398	14,218	8,997	1,219				
	財源内訳	国補助	千円								
		県補助	千円	600	10,548	6,946	496				
		市債	千円								
		その他	千円								
		一般財源	千円	798	3,670	2,051	723				
	人工数		人	1.6							
	人件費		千円	9,266							

手 段(DO)	活動指標	単位	2年度	3年度	4年度	5年度																		
農地中間管理機構と業務委託契約を締結し、専門職員を配置することで担い手への集積を強化し、耕作放棄地の抑制や解消を図り、優良農地の確保に努める。また、担い手への利子補給を行う。			目標値																					
			実績値																					
			目標値																					
			実績値																					
成 果	成果指標	単位	2年度	3年度	4年度	5年度																		
耕作放棄地の発生抑制が図られ、今後も営農が行える農地の保全へとつながる。	貸付け契約面積	ha	目標値	6	10	11	11																	
			実績値	5	11.3																			
活動指標の動向			成果指標の動向																					
			貸付け契約面積 <table><caption>貸付け契約面積の動向</caption><tr><th>年度</th><th>目標値</th><th>実績値</th></tr><tr><td>R1</td><td>6</td><td>6</td></tr><tr><td>R2</td><td>5.5</td><td>5</td></tr><tr><td>R3</td><td>10</td><td>11.3</td></tr><tr><td>R4</td><td>11</td><td></td></tr><tr><td>R5</td><td>11.5</td><td></td></tr></table>				年度	目標値	実績値	R1	6	6	R2	5.5	5	R3	10	11.3	R4	11		R5	11.5	
年度	目標値	実績値																						
R1	6	6																						
R2	5.5	5																						
R3	10	11.3																						
R4	11																							
R5	11.5																							

令和3年度 3か年事務事業戦略シート

基本計画					予算科目					整理番号
節	テーマ	施策	展開	実施計画事業名	款	項	目	事	事業名	
3	1	2	2	農業経営基盤強化促進事業	5	01	03	02	農業経営基盤強化促進事業	301020201

課題抽出（CHECK）

活動内容と成果（具体的に何をしたか、どのような実績があったか）

・令和3年度より農地中間管理機構と業務委託契約を締結したことによって貸付け農地面積が11.3haとなり、農地集積・集約が図れた。

・担い手への利子補給を9件実施したことにより、担い手の負担軽減による営農の安定が図れた。

必要性の評価

有効性の評価

効率性の評価

B: 必要性が認められる

A: 有効性が高い

A: 効率性が高い

総合評価

A: 十分な成果を挙げた（目標・目的を達成している）

分析・評価（活動してどのような課題があったか）

・農地の貸し借りをを行う際に詳細な条件面でのマッチングが合わないケースや、既に耕作放棄地となっているなど現状により事業対象農地とならないといったことがあった。

今後の方向性（ACTION）

事業の方向性

改善・改革の手法

B: 事業の実施方法やコスト等について改善が必要

⑤更なる事業の推進

課題を解決する具体的な取組（具体的にどのような考え方で、課題を解決していくのか）

農地中間管理事業の周知を強化することにより、より多くの様々な条件の農地を集め、母数を増やし、マッチングがうまく進むよう努める。

企画政策課の評価

評価理由

B

A: 計画どおり事業継続が
適当
B: 事業改善の検討が必要
C: 事業の休止・廃止の
検討が必要
D: 事業終了が適当

耕作放棄地の発生抑制が図られることで農地の保全につながる事業と認めることができる。引き続き、関係機関と連携し農地の集積・集約に取り組んでいただきたい。

令和3年度 3か年事務事業戦略シート

基本計画					
節	テーマ	施策	展開	テーマ名	施策名
3	1	3	3	農林業	経営体と担い手の育成
実施計画事業名					
農業者育成支援事業					

予算科目				
款	項	目	事	事業名
5	01	03	09	農業者育成支援事業
担当課・係等				
農政課振興係				

実施計画整理番号	
301030301	
総合戦略 整理番号	0

事務事業の概要 (PLAN)	事業の目標・目的(誰・何をどのような状態にするか)	主な活動内容(目標を達成するために何を行うか)
	新規就農者には技術の習得や所得の確保が課題となっていることから、国の新規就農総合支援事業を活用し、農業次世代人材投資事業の資金を行い、就農意欲の喚起と就農後の定着を図る。	・農業次世代人材投資資金を交付する。 ・チラシや千葉県立農業大学校での事業周知を行う。
	基本計画への寄与(基本計画の施策等の推進にどのように寄与しているか)	
	農業従事者の高齢化が急速に進展する中、持続可能な力強い農業を実現するにあたり、新規就農者を増加させる必要がある。新規就農するにあたって、就農直後の所得の確保が課題となっていることから、就農に向けた経営開始資金の交付することで、新規就農者の増加をにつなげ、ひいては施策「経営体と担い手の育成」に寄与する。	

投入される行政コスト(DO)	区分		令和3年度			令和4年度			令和5年度		
			計画	予算	決算	計画	予算	決算	計画	予算	決算
	事業費		千円	10,500	12,000	11,250	13,500				
	財源内訳	国補助	千円	10,500	12,000	11,250	13,500				
		県補助	千円								
		市債	千円								
		その他	千円								
		一般財源	千円	0	0	0	0				
	人工数		人	0.43							
	人件費		千円	3,214							

手 段(DO)	活動指標	単位	2年度	3年度	4年度	5年度												
茂原市のPR及び新規就農促進を図るため、チラシの周知や千葉県立農業大学校に伺い茂原市の魅力を伝えることで、新規就農者確保に努める。			目標値															
			実績値															
			目標値															
			実績値															
成 果	成果指標	単位	2年度	3年度	4年度	5年度												
担い手不足の解消及び新規就農者確保につなげる。	農業次世代人材投資事業を活用した新規就農者(累計)	人	目標値	増加を目指します	増加を目指します	増加を目指します	増加を目指します											
			実績値	2	2													
活動指標の動向			成果指標の動向															
			農業次世代人材投資事業を活用した新規就農者(累計) <table><tr><th>年度</th><th>実績値</th></tr><tr><td>R1</td><td>2</td></tr><tr><td>R2</td><td>2</td></tr><tr><td>R3</td><td></td></tr><tr><td>R4</td><td></td></tr><tr><td>R5</td><td></td></tr></table>				年度	実績値	R1	2	R2	2	R3		R4		R5	
年度	実績値																	
R1	2																	
R2	2																	
R3																		
R4																		
R5																		

令和3年度 3か年事務事業戦略シート

基本計画					予算科目					整理番号
節	テーマ	施策	展開	実施計画事業名	款	項	目	事	事業名	
3	1	3	3	農業者育成支援事業	5	01	03	09	農業者育成支援事業	301030301

課題抽出 (CHECK)	活動内容と成果(具体的に何をしたか、どのような実績があったか)		
	千葉県立農業大学校に伺い茂原のPRをしたことにより、認定新規就農者が2人増加し、農業次世代人材投資事業交付者も2人増加した。 チラシの周知により、新規就農の相談件数の増加につなげた。		
	必要性の評価	有効性の評価	効率性の評価
	A: 必要性が高い	A: 有効性が高い	A: 効率性が高い
	総合評価		
	A: 十分な成果を挙げた(目標・目的を達成している)		
	分析・評価(活動してどのような課題があったか)		
	・本市における農地全体の8割は水田であるが、水稻に比べ園芸の方が生産しやすいことから、水稻の新規就農者が少ない。 ・全国の新規就農者がいる自治体では、国の新規就農総合支援事業を活用しているため、いかに差別化を図るか考える必要がある。		

今後の方向性 (ACTION)	事業の方向性		改善・改革の手法	
	A: 計画どおり事業を進めることが適当		⑤更なる事業の推進	
	課題を解決する具体的な取組(具体的にどのような考え方で、課題を解決していくのか)			
	・本市による農業の魅力を伝えるとともに、水稻を始めるにあたり充実した補助や就農者へのメリット等を分かりやすく説明する。 ・新規就農相談者に対して、本市の魅力を伝えるようなコンテンツを考え実施することで、知名度の向上を図り、新規就農者の増加を図る。			
	企画政策課の評価		評価理由	
	A	A: 計画どおり事業継続が適当 B: 事業改善の検討が必要 C: 事業の休止・廃止の検討が必要 D: 事業終了が適当	就農意欲の喚起と就農後の定着を図る事業と認められる。引き続き、より効果的で本市の現状に沿う施策を調査・検討し、新規就農者の確保につなげていただきたい。	

令和3年度 3か年事務事業戦略シート

基本計画					
節	テーマ	施策	展開	テーマ名	施策名
3	1	4	1	農林業	農業経営の改善
実施計画事業名					
需給調整推進事業					

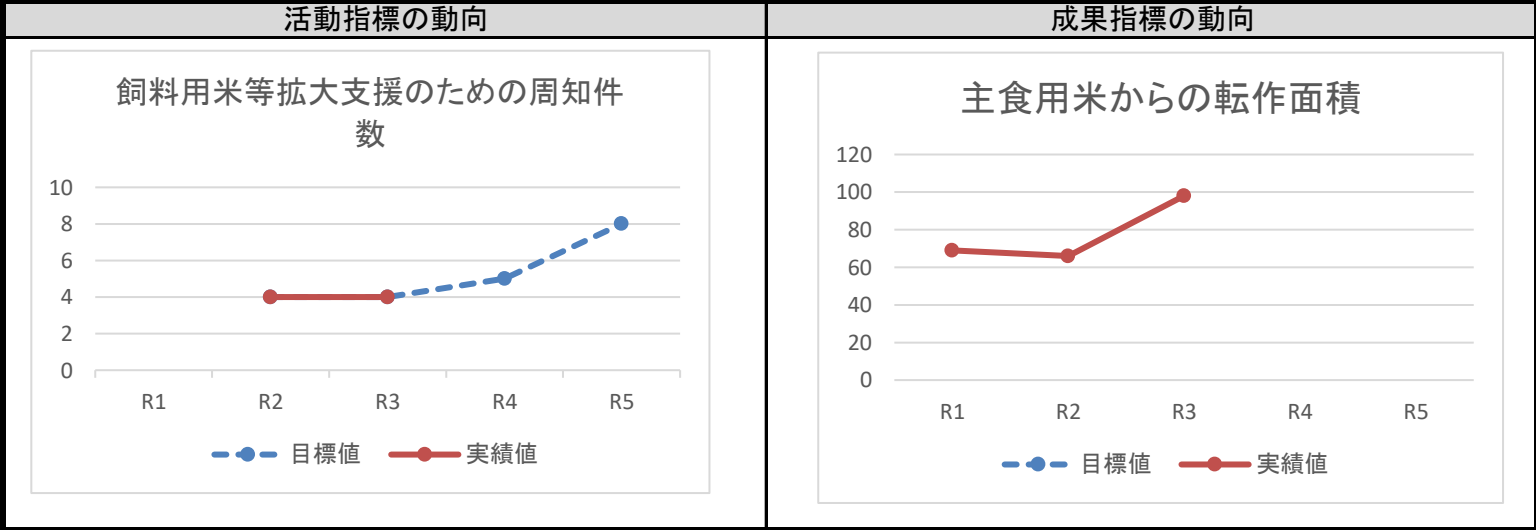
予算科目				
款	項	目	事	事業名
5	01	03	01	需給調整推進事業
担当課・係等				
農政課振興係				

実施計画整理番号	
301040101	
総合戦略 整理番号	

事務事業の概要 (PLAN)	事業の目標・目的(誰・何をどのような状態にするか)	主な活動内容(目標を達成するために何を行うか)
	茂原市地域農業再生協議会及び農業者に対して、新規需要米の作付けなど需要に応じた米の生産や、転作作物の作付けによる食料自給率向上の取組を推進し、農業者の経営改善を目指す。	茂原市地域農業再生協議会に需要に応じた米の生産や転作作物の作付けによる食料自給率向上の取組推進・確認のための事務経費の補助、取組を実施した農業者には対象となる経費の補助を行う。 新規需要米等の転作に取組む生産者に対し補助金を交付する。
	基本計画への寄与(基本計画の施策等の推進にどのように寄与しているか)	
	茂原市地域農業再生協議会や農業者に対して経費等の補助を行うことで、需要に応じた米の生産や転作作物作付けによる食料自給率向上の取組の推進を図り、ひいては施策「農業経営の改善」に寄与する。	

投入される行政コスト(DO)	区分		令和3年度			令和4年度			令和5年度		
		単位	計画	予算	決算	計画	予算	決算	計画	予算	決算
	事業費		千円	8,569	11,073	11,020	10,591				
	財源内訳	国補助	千円								
		県補助	千円	3,696	5,189	5,187	5,718				
		市債	千円								
		その他	千円								
		一般財源	千円	4,873	5,884	5,833	4,873				
	人工数		人	1.23							
	人件費		千円	7,847							

手 段(DO)	活動指標	単位	2年度	3年度	4年度	5年度
農家組合と連携を図りながら、パンフレットの配布や集落等への説明会を実施し、飼料用米等拡大支援事業や経営所得安定対策の推進に努める。	飼料用米等拡大支援のための広報等による周知件数	件	目標値 4	4	5	8
			実績値 4	4		
			目標値			
			実績値			
成 果	成果指標	単位	2年度	3年度	4年度	5年度
主食用米から、飼料用米等への作付けによる農業者の経営改善が図られる。	主食用米からの転作面積	ha	目標値 増加を目指します	増加を目指します	増加を目指します	増加を目指します
			実績値 66	98		



令和3年度 3か年事務事業戦略シート

基本計画					予算科目					整理番号
節	テーマ	施策	展開	実施計画事業名	款	項	目	事	事業名	
3	1	4	1	需給調整推進事業	5	01	03	01	需給調整推進事業	301040101

課題抽出（CHECK）	活動内容と成果（具体的に何をしたか、どのような実績があったか）		
	・主食用米の価格安定と食料自給率の向上を図るためには、米の需給調整は重要な要素であり、飼料用米等の取組を支援することで、生産の推進を図ることができた。 ・農家組合と連携し、市内の全農家に対して需給調整等に関する情報を周知した結果、主食用米からの転作面積が前年度より増加した。		
	必要性の評価	有効性の評価	効率性の評価
	A: 必要性が高い	A: 有効性が高い	A: 効率性が高い
	総合評価		
	A: 十分な成果を挙げた（目標・目的を達成している）		
	分析・評価（活動してどのような課題があったか）		
	・飼料用米等の作付けが拡大したことで、米価の安定に繋がるかは不透明な部分も多いが、本市の土地質としての転作作物は飼料用米等への作付けを更に推進する選択肢が有効であると考えられるため、今後も推進するためには上乗せ給付や農業機械導入の補助等を検討していく必要がある。		

今後の方向性（ACTION）	事業の方向性		改善・改革の手法	
	A: 計画どおり事業を進めることが適当		⑤更なる事業の推進	
	課題を解決する具体的な取組（具体的にどのような考え方で、課題を解決していくのか）			
	・引き続き、飼料用米等の転作作物の取組者を支援し、生産拡大を図るとともに、農家組合と連携し、需要に応じた米の生産に関する情報を周知する。また、各種補助事業や経営所得安定対策を推進するため、農家への周知や確認事務等を円滑に実施する。			
	企画政策課の評価		評価理由	
	A	A: 計画どおり事業継続が適当 B: 事業改善の検討が必要 C: 事業の休止・廃止の検討が必要 D: 事業終了が適当	農業者の経営改善に一定の成果があったと認められる。引き続き、関係機関と連携して、より効果的・効率的な周知を実施していただきたい。	

令和3年度 3か年事務事業戦略シート

基本計画					
節	テーマ	施策	展開	テーマ名	施策名
3	1	4	2	農林業	農業経営の改善
実施計画事業名					
稲作生産効率化促進事業					

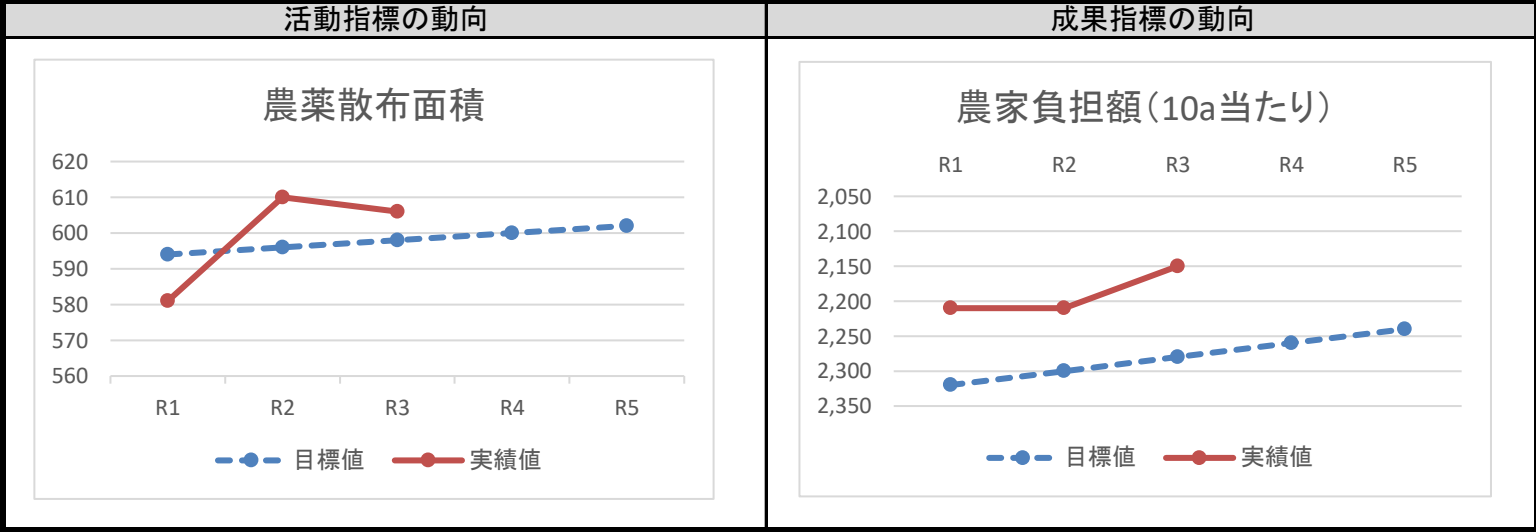
予算科目				
款	項	目	事	事業名
5	01	03	03	稲作生産効率化促進事業
担当課・係等				
農政課振興係				

実施計画整理番号	
301040201	
総合戦略 整理番号	

事務事業の概要（PLAN）	事業の目標・目的（誰・何をどのような状態にするか）	主な活動内容（目標を達成するために何を行うか）
	産業用無人ヘリコプターによる薬剤の空中散布を実施することで農作業の省力化を図り、米の安定的な収穫と品質の向上を図る。	産業用無人ヘリコプターによる病虫害防除を実施する。農家負担額を長生郡内で同一水準にするよう補助金を交付する。
	基本計画への寄与（基本計画の施策等の推進にどのように寄与しているか）	
	本市における農地全体の8割は水田になっており、米の生産には作業の手間暇が多いため作業の省力化を図り、米の安定的な収穫と品質の向上を図る必要がある。個人による水田の農薬散布の実施については、水田の面積が多く個人による農薬散布は重労働であり時間もかかることが課題となっていることから、本市が散布農地を取りまとめ短期間で一括して産業用無人ヘリコプターによる薬剤の空中散布を実施し作業の効率化を図ることで、米の安定的な収穫と品質の向上につなげ、ひいては施策「農業経営の改善」に寄与する。	

投入される行政コスト (DO)	区分		令和3年度			令和4年度			令和5年度		
			計画	予算	決算	計画	予算	決算	計画	予算	決算
	事業費		千円	3,790	3,790	3,790					
	財源内訳	国補助	千円								
		県補助	千円								
		市債	千円								
		その他	千円								
		一般財源	千円	3,790	3,790	3,790					
	人工数		人	0.63							
	人件費		千円	3,782							

手 段(DO)	活動指標	単位	2年度	3年度	4年度	5年度
産業用無人ヘリコプターによる薬剤の空中散布を実施するにあたり最大の効果と効率を図る為、航空防除の必要性を農家に広く周知し農薬散布面積の拡大に努める。	農薬散布面積	ha	目標値 596	598	600	602
			実績値 610	606		
			目標値			
			実績値			
成 果	成果指標	単位	2年度	3年度	4年度	5年度
農家負担額を減らし、更に取り組みやすい空中散布につなげる。	農家負担額(10a当たり)	円	目標値 2,300	2,280	2,260	2,240
			実績値 2,210	2,150		



令和3年度 3か年事務事業戦略シート

基本計画					予算科目					整理番号
節	テーマ	施策	展開	実施計画事業名	款	項	目	事	事業名	
3	1	4	2	稲作生産効率化促進事業	5	01	03	03	稲作生産効率化促進事業	301040201

課題抽出 (CHECK)	活動内容と成果(具体的に何をしたか、どのような実績があったか)		
	航空防除実施に伴い周知方法として、農家組合回覧、自治会回覧、広報、市公式ウェブサイトで行ったが、情報発信ツールとしているFacebookの掲載を加え、市民の皆さまがより情報を得やすくなるように努めた。航空防除を適切な時期に実施し、より効果的な散布をすることで、米の安定的な収穫と品質の向上につなげた。		
	必要性の評価	有効性の評価	効率性の評価
	A: 必要性が高い	A: 有効性が高い	A: 効率性が高い
	総合評価		
	A: 十分な成果を挙げた(目標・目的を達成している)		
	分析・評価(活動してどのような課題があったか)		
	・広報などを使用し、航空防除の実施について広く事前に情報発信をしてきたが、中には情報を受信できていない方もいる。		

今後の方向性 (ACTION)	事業の方向性		改善・改革の手法	
	A: 計画どおり事業を進めることが適当		⑤更なる事業の推進	
	課題を解決する具体的な取組(具体的にどのような考え方で、課題を解決していくのか)			
	・事前の情報発信だけではなく、当日の航空防除実施時に使用する車に対して、「水稻病虫害防除実施中」と記載されたマグネットを貼ることにより、より広く情報を発信することに努める。			
	企画政策課の評価		評価理由	
	A	A: 計画どおり事業継続が適当 B: 事業改善の検討が必要 C: 事業の休止・廃止の検討が必要 D: 事業終了が適当	農作業の省力化を図り、米の安定的な収穫と品質の向上に資する事業と認められる。引き続き、より効果的な散布手法について検討するとともに、事業の効果的な周知に努めていただきたい。	

令和3年度 3か年事務事業戦略シート

基本計画					
節	テーマ	施策	展開	テーマ名	施策名
3	1	4	3	農林業	農業経営の改善
実施計画事業名					
園芸農産振興事業					

予算科目				
款	項	目	事	事業名
5	01	03	04	園芸農産振興事業
担当課・係等				
農政課振興係				

実施計画整理番号	
301040301	
総合戦略 整理番号	

事務事業の概要（PLAN）	事業の目標・目的（誰・何をどのような状態にするか）	主な活動内容（目標を達成するために何を行うか）
	良質な農産物を生産するためには機械化による生産の効率化が必須となっている。また、現在使用している機械の老朽化も激しく、各生産組合の生産者は高齢化も進んでいる。各組合を支援して産地間競争を制する産地化を目指す。農業活動において排出される廃プラスチックの適正な処理を推進する。	各生産組合が実施する施設設置や機械導入、農業振興事業に対して補助金を交付する。 茂原市廃プラスチック対策協議会が実施する適正な廃プラスチック処理に対し補助金を交付する。
	基本計画への寄与（基本計画の施策等の推進にどのように寄与しているか）	
	農業従事者の高齢化が急速に進展する中、現在使用している機械や園芸用の施設の老朽化が激しく、良質な農産物を生産するにあたり、機械化及び施設園芸の高度化により生産を効率化させる必要がある。各生産組合に対して支援をして、既存産地の生産力を向上及び産地力の強化につなげ、ひいては施策「農業経営の改善」に寄与する。	

投入される行政コスト（DO）	区分		令和3年度			令和4年度			令和5年度		
		単位	計画	予算	決算	計画	予算	決算	計画	予算	決算
	事業費		千円	7,163	7,163	4,995	7,592				
	財源内訳	国補助	千円								
		県補助	千円	4,141	4,141	2,313	4,570				
		市債	千円								
		その他	千円								
		一般財源	千円	3,022	3,022	2,682	3,022				
	人工数		人	0.43							
	人件費		千円	3,214							

手 段(DO)	活動指標	単位	2年度	3年度	4年度	5年度
園芸農産振興を図るため、各生産組合や農業者に対して広く補助の周知に努める。	各園芸農産振興事業への補助金の交付	円	目標値 3,250	3,500	3,750	4,000
			実績値 9,063	4,994		
			目標値			
			実績値			
成 果	成果指標	単位	2年度	3年度	4年度	5年度
既存産地の生産力を向上及び産地力の強化を図る。			目標値			
			実績値			

活動指標の動向	成果指標の動向																		
各園芸農産振興事業への補助金の交付 <table><caption>各園芸農産振興事業への補助金の交付の動向</caption><tr><th>年度</th><th>目標値 (千円)</th><th>実績値 (千円)</th></tr><tr><td>R1</td><td>3,250</td><td>3,250</td></tr><tr><td>R2</td><td>3,500</td><td>9,063</td></tr><tr><td>R3</td><td>3,750</td><td>4,994</td></tr><tr><td>R4</td><td>4,000</td><td>4,000</td></tr><tr><td>R5</td><td>4,000</td><td>4,000</td></tr></table>	年度	目標値 (千円)	実績値 (千円)	R1	3,250	3,250	R2	3,500	9,063	R3	3,750	4,994	R4	4,000	4,000	R5	4,000	4,000	
年度	目標値 (千円)	実績値 (千円)																	
R1	3,250	3,250																	
R2	3,500	9,063																	
R3	3,750	4,994																	
R4	4,000	4,000																	
R5	4,000	4,000																	

令和3年度 3か年事務事業戦略シート

基本計画					予算科目					整理番号
節	テーマ	施策	展開	実施計画事業名	款	項	目	事	事業名	
3	1	4	3	園芸農産振興事業	5	01	03	04	園芸農産振興事業	301040301

課題抽出 (CHECK)

活動内容と成果(具体的に何をしたか、どのような実績があったか)		
・園芸農産振興を図るため、各生産組合や農業者に対して補助の周知に努めたことにより、5団体に対して農業振興事業についての補助を交付した。 ・園芸農業の生産力強化拡大をするため、認定新規就農者に対して、生産用施設・省力機械に対して助成した。		
必要性の評価	有効性の評価	効率性の評価
A: 必要性が高い	A: 有効性が高い	A: 効率性が高い
総合評価		
A: 十分な成果を挙げた(目標・目的を達成している)		
分析・評価(活動してどのような課題があったか)		
・県単独の園芸に対する補助はあるが、要件が厳しく取り組みにくいいため、より効果的に支援を実施し、さらなる既存産地の生産力の向上及び産地力の強化につなげる必要がある。 ・農業者の高齢化や担い手の不足による農業離れが年々深刻化してきており、その内農業者の半分以上が兼業農家であるが、農業用機械の維持に多額の費用がかかるため兼業農家等が農業を続けていくのが困難である。		

今後の方向性 (ACTION)	事業の方向性		改善・改革の手法	
	A:計画どおり事業を進めることが適当		⑤更なる事業の推進	
	課題を解決する具体的な取組(具体的にどのような考え方で、課題を解決していくのか)			
	・農業用機械を修繕した経費に対し補助を行うことにより、兼業農家等の農業の継続を図る。			
	企画政策課の評価		評価理由	
B		A:計画どおり事業継続が 適当 B:事業改善の検討が必要 C:事業の休止・廃止の検 討が必要 D:事業終了が適当	生産の効率化を支援することで、既存産地の生産力向上及び産地力の 強化につながる事業と認められる。引き続き、より効果的に支援を実施 することで、農業経営の改善につなげていただきたい。	

令和3年度 3か年事務事業戦略シート

基本計画					
節	テーマ	施策	展開	テーマ名	施策名
3	1	4	4	農林業	農業経営の改善
実施計画事業名					
畜産振興事業					

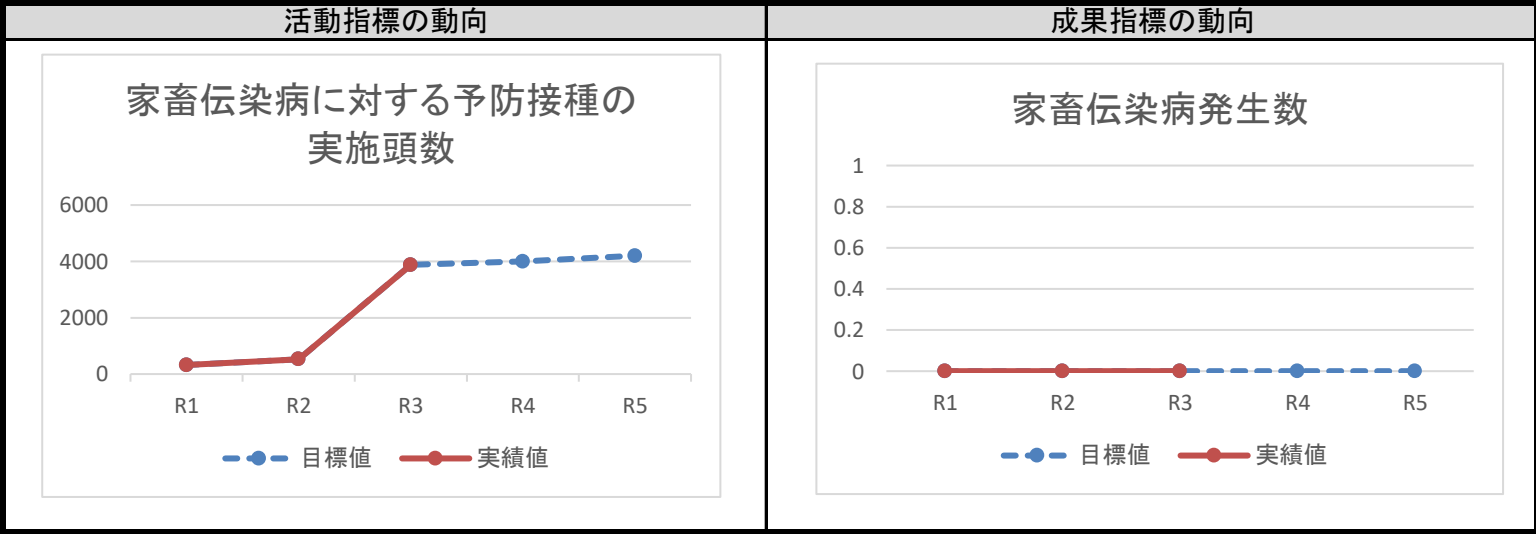
予算科目				
款	項	目	事	事業名
5	01	04	01	畜産振興事業
担当課・係等				
農政課振興係				

実施計画整理番号	
301040401	
総合戦略 整理番号	

事務事業の概要 (PLAN)	事業の目標・目的(誰・何をどのような状態にするか)	主な活動内容(目標を達成するために何を行うか)
	畜産の振興を図るとともに、家畜伝染病に対する自主的な防疫活動を推進して畜産経営の安定を図る。	・自衛防疫の一環である予防接種費用に対する補助を行う。 ・畜産団体の運営に対する補助や支援を行う。
	基本計画への寄与(基本計画の施策等の推進にどのように寄与しているか)	
	家畜伝染病の予防接種費用や畜産団体の運営に対する補助を行うことで、畜産振興及び経営の安定を図り、ひいては施策「農業経営の改善」に寄与する。	

投入される行政コスト(DO)	区分		令和3年度			令和4年度			令和5年度		
		単位	計画	予算	決算	計画	予算	決算	計画	予算	決算
	事業費		千円	787	787	786	14,755				
	財源内訳	国補助	千円								
		県補助	千円				14,143				
		市債	千円								
		その他	千円								
		一般財源	千円	787	787	786	612				
	人工数		人	0.33							
	人件費		千円	2,458							

手 段(DO)	活動指標	単位	2年度	3年度	4年度	5年度
家畜伝染病に対する予防接種を実施し、自主的な防疫活動の推進に努める。	家畜伝染病に対する予防接種の実施頭数	頭	目標値 529	3,872	4,000	4,200
			実績値 529	3,872		
			目標値			
			実績値			
成 果	成果指標	単位	2年度	3年度	4年度	5年度
家畜伝染病の発生を未然に防ぎ、畜産経営の安定を図る。	家畜伝染病発生数	件	目標値 発生を防ぎます	発生を防ぎます	発生を防ぎます	発生を防ぎます
			実績値			



令和3年度 3か年事務事業戦略シート

基本計画					予算科目					整理番号
節	テーマ	施策	展開	実施計画事業名	款	項	目	事	事業名	
3	1	4	4	畜産振興事業	5	01	04	01	畜産振興事業	301040401

課題抽出（CHECK）	活動内容と成果（具体的に何をしたか、どのような実績があったか）		
	・牛アカバネ病30頭、牛三種混合33頭、豚熱3,809頭の予防接種に対して支援を行ったことにより、市内において家畜伝染病の発生は確認されなかった。 ・活動を支援している茂原市酪農組合が参加する、乳牛共進会については、コロナ禍の影響により中止となった。		
	必要性の評価	有効性の評価	効率性の評価
	B: 必要性が認められる	A: 有効性が高い	A: 効率性が高い
	総合評価		
	A: 十分な成果を挙げた（目標・目的を達成している）		
	分析・評価（活動してどのような課題があったか）		
	畜産農家の減少に対応するため、畜産振興事業の拡大や家畜伝染病の発生に備えた防除体制を確立する必要がある。		

今後の方向性（ACTION）	事業の方向性		改善・改革の手法	
	B: 事業の実施方法やコスト等について改善が必要		⑤更なる事業の推進	
	課題を解決する具体的な取組（具体的にどのような考え方で、課題を解決していくのか）			
	・引き続き、防疫活動や畜産団体に対する補助を行い、畜産経営の安定に努める。 ・輸入飼料価格の高騰により畜産農家の経営が厳しい状況になっており、自給飼料生産の拡大や安定供給のため、関連機械の導入に対して補助を行う。			
	企画政策課の評価		評価理由	
	B	A: 計画どおり事業継続が 適当 B: 事業改善の検討が必要 C: 事業の休止・廃止の検討が必要 D: 事業終了が適当	本事業は、予防接種費用や運営に対する補助を実施することで、畜産経営の安定に一定の成果があったと認められる。一方で、本市の畜産振興に沿うもので畜産農家の減少抑制につながるとは判断できない。引き続き、畜産振興により効果的な支援内容についても調査・研究いただきたい。	

令和3年度 3か年事務事業戦略シート

基本計画					
節	テーマ	施策	展開	テーマ名	施策名
3	1	4	5	農林業	農業経営の改善
実施計画事業名					
環境にやさしい農業推進事業					

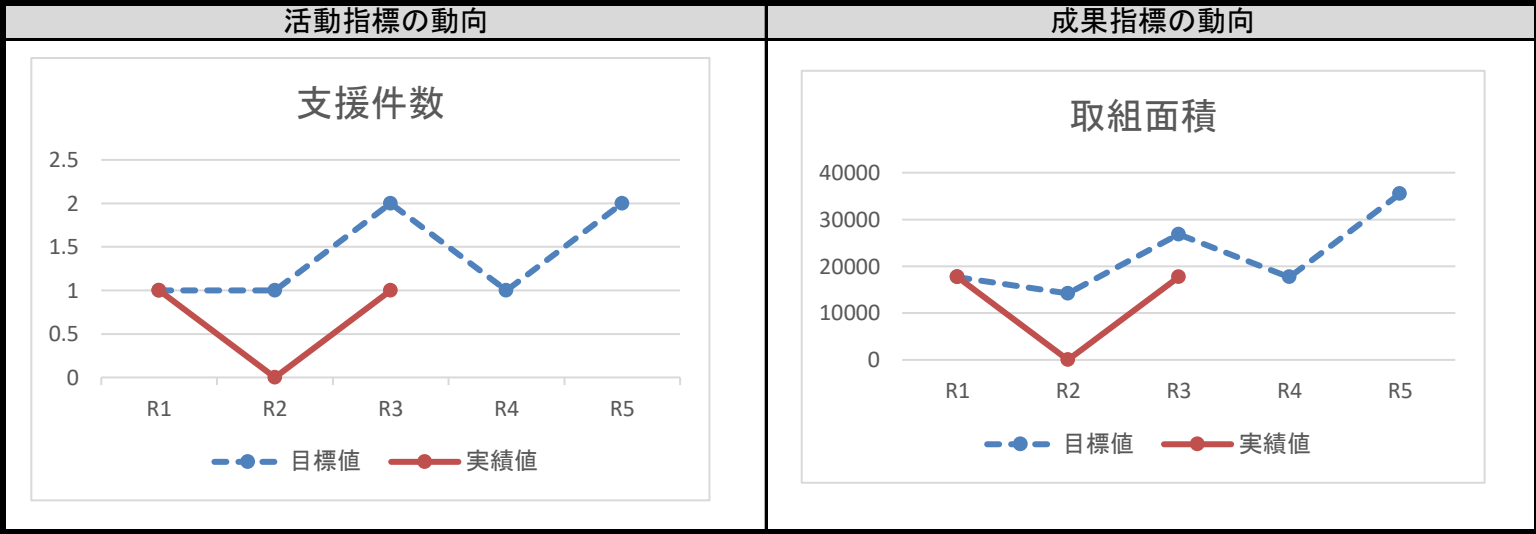
予算科目				
款	項	目	事	事業名
5	01	04	01	環境にやさしい農業推進事業
担当課・係等				
農政課振興係				

実施計画整理番号	
301040501	
総合戦略 整理番号	

事務事業の概要 (PLAN)	事業の目標・目的(誰・何をどのような状態にするか)	主な活動内容(目標を達成するために何を行うか)
	農業の持続的発展を図るためエコファーマーの認定促進や有機農業などの環境にやさしい農業を推進する。また、環境負荷の軽減に配慮した営農活動に取り組む農業者団体等の追加的コストを支援し、環境にやさしい農業の推進を図る。	自然環境の保全に資する農業生産活動を実施する生産者や農業者団体に補助金(交付金)を交付する。
	基本計画への寄与(基本計画の施策等の推進にどのように寄与しているか)	
	農業の持続的発展を行っていくために有機農業や緑肥などの地球環境にやさしい農業への取組をする農家に対して支援を行う。持続可能な農業への取組に協力することにより結果として施策「農業経営の改善」に寄与することができる。	

投入される行政コスト(DO)	区分		令和3年度			令和4年度			令和5年度		
		単位	計画	予算	決算	計画	予算	決算	計画	予算	決算
	事業費		千円	213	213	0	213				
	財源内訳	国補助	千円								
		県補助	千円	159	159	0	159				
		市債	千円								
		その他	千円								
		一般財源	千円	54	54	0	54				
	人工数		人	0.23							
	人件費		千円	1,702							

手 段(DO)	活動指標	単位	2年度	3年度	4年度	5年度
環境にやさしい農業の推進として、カバークロップに取り組む農家に対して支援を行う。	取組件数	件	目標値 1	2	1	2
			実績値	1		
			目標値			
			実績値			
成 果	成果指標	単位	2年度	3年度	4年度	5年度
環境負荷の軽減に配慮した営農活動を促進することで、農業の持続的発展が図られる。	カバークロップ取組面積 ※カバークロップとは…それ自体は収穫にならないが、土壌侵食防止や土壌改良に役立つ作物。	㎡	目標値 17,700	17,700	17,700	30,000
			実績値	17,700		



令和3年度 3か年事務事業戦略シート

基本計画					予算科目					整理番号
節	テーマ	施策	展開	実施計画事業名	款	項	目	事	事業名	
3	1	4	5	環境にやさしい農業推進事業	5	01	04	01	環境にやさしい農業推進事業	301040501

課題抽出 (CHECK)	活動内容と成果(具体的に何をしたか、どのような実績があったか)		
	・令和2年度より、要綱の改正が行われたため過去取組実績のある2団体が実施要件を満たすことが出来なくなり、事業を実施することができなかった。		
	必要性の評価	有効性の評価	効率性の評価
	B: 必要性が認められる	B: 有効性が認められる	B: 効率性が認められる
	総合評価		
	C: 成果を挙げることができなかった(目標・目的を達成していない)		
	分析・評価(活動してどのような課題があったか)		
	・次年度以降、事業を実施できるよう、努める必要がある。		

今後の方向性 (ACTION)	事業の方向性		改善・改革の手法	
	B: 事業の実施方法やコスト等について改善が必要		①業務の整理・統合・集約化	
	課題を解決する具体的な取組(具体的にどのような考え方で、課題を解決していくのか)			
	変更となった実施要件を満たすことができるよう、農業者に対して情報提供や取り組み方法の支援など働きかけを引き続き行っていく。			
	企画政策課の評価		評価理由	
	B	A: 計画どおり事業継続が 適当 B: 事業改善の検討が必要 C: 事業の休止・廃止の検討が必要 D: 事業終了が適当	環境負荷の軽減に配慮した営農活動を促進し、農業の持続的発展が図られる事業と認められる。引き続き、環境にやさしい農業に取り組む農業者を支援するとともに、情報収集・情報提供を実施していただきたい。また、持続可能な農業の必要性についても周知を図り、取り組む農業者の支援に努めていただきたい。	

令和3年度 3か年事務事業戦略シート

基本計画					
節	テーマ	施策	展開	テーマ名	施策名
3	1	4	6	農林業	農業経営の改善
実施計画事業名					
有害鳥獣駆除事業					

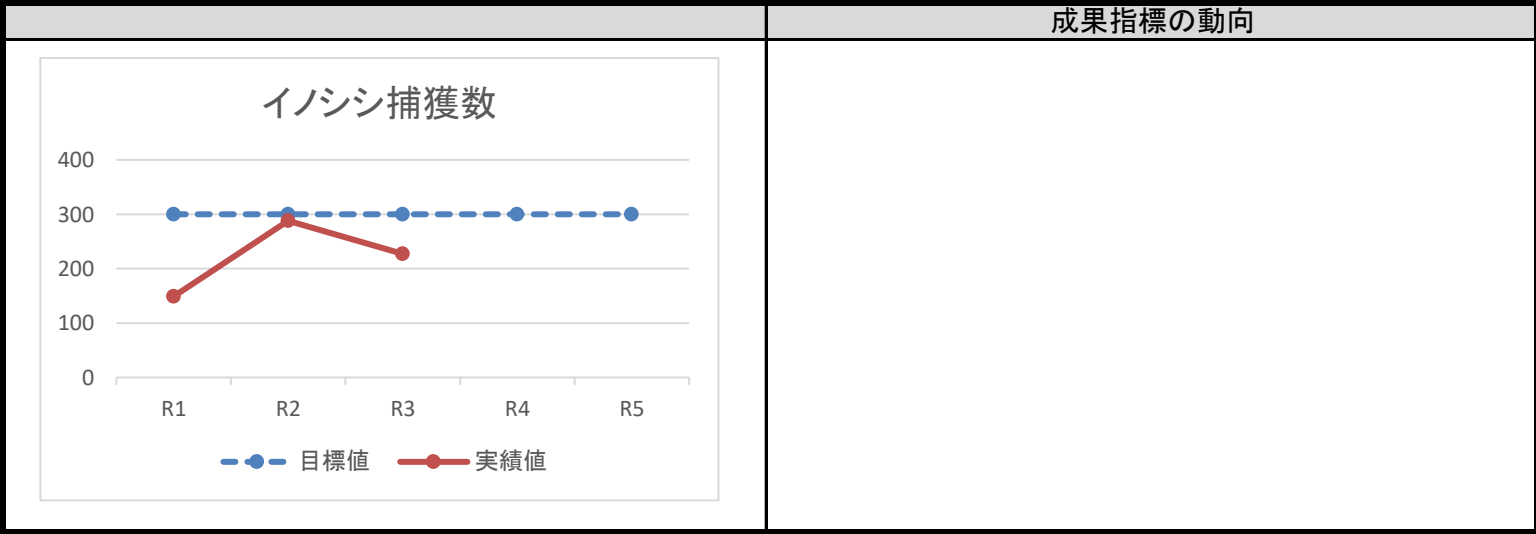
予算科目				
款	項	目	事	事業名
5	01	03	08	有害鳥獣駆除事業
担当課・係等				
農政課農地保全係				

実施計画整理番号	
301040601	
総合戦略 整理番号	

事務事業の概要 (PLAN)	事業の目標・目的(誰・何をどのような状態にするか)	主な活動内容(目標を達成するために何を行うか)
	有害鳥獣による農作物被害、並びに生活環境の保全及び自然環境を保全するために、駆除や防除を行い、優良農地の保全を図る。 また、捕獲した野生獣の肉・毛皮などを使用した加工品などの副産物化を推進する。	鳥獣被害防止対策推進協議会に、負担金を交付することにより、捕獲や電気柵設置などの有害鳥獣対策を実施する。 加工品などの副産物化について調査研究を実施する。
	基本計画への寄与(基本計画の施策等の推進にどのように寄与しているか)	
	イノシシをはじめとする有害鳥獣の被害が課題となっており、農家の収穫量の不安定化や営農意欲減退を招いている。有害鳥獣対策を実施することで、農地の掘り起しや食害による農業被害の軽減が図られ、安定的な農家の収益安定につながり、ひいては施策「農業経営の改善」に寄与する。	

投入される行政コスト (DO)	区分	単位	令和3年度			令和4年度			令和5年度		
			計画	予算	決算	計画	予算	決算	計画	予算	決算
	事業費	千円	20,234	23,729	23,497	20,234					
	財源内訳	国補助	千円	3778	908	3,774	3778				
		県補助	千円		2890	2,449					
		市債	千円								
		その他	千円								
		一般財源	千円	16,456	19,931	17,274	16,456				
	人工数	人		1.3							
	人件費	千円		9,832							

手 段(DO)	活動指標	単位	2年度	3年度	4年度	5年度
猟友会や民間業者の鳥獣捕獲業務委託による駆除や電気柵による防除を行うことで、農作物被害の軽減を図る。	イノシシ捕獲数	頭	目標値 300	300	300	300
			実績値 288	227		
	電気柵設置面積	ha	目標値 7.8	7.8	7.8	7.8
			実績値 7.9	5.8		
成 果	成果指標	単位	2年度	3年度	4年度	5年度
鳥獣捕獲による駆除や防除を行うことで、農作物被害を削減するとともに、優良農地の保全を図る。			目標値			
			実績値			



令和3年度 3か年事務事業戦略シート

基本計画					予算科目					整理番号
節	テーマ	施策	展開	実施計画事業名	款	項	目	事	事業名	
3	1	4	6	有害鳥獣駆除事業	5	01	03	08	有害鳥獣駆除事業	301040601

課題抽出（CHECK）

活動内容と成果（具体的に何をしたか、どのような実績があったか）		
・有害鳥獣の捕獲活動として、猟友会及び各従事者、民間業者と連携し鳥獣捕獲業務委託を実施し、R3年度（R4.3.9現在）はイノシシ198頭、ニホンジカ3頭、キョン2頭、アライグマ389頭、ハクビシン53頭、タヌキ140頭、の合計785頭を捕獲した。 ・電気柵設置事業として、市内農家に対し10件、約5.8haを設置し野生鳥獣による農地への侵入を防除した。		
必要性の評価	有効性の評価	効率性の評価
A: 必要性が高い	A: 有効性が高い	A: 効率性が高い
総合評価		
B: ある程度の成果を挙げた（目標・目的を概ね達成している）		
分析・評価（活動してどのような課題があったか）		
・イノシシ等の大型獣は毎年捕獲数にばらつきがあり、生息数や生息域の特定に至らず完全に農作物被害を無くせてはいない。アライグマ等の小動物については、山林や農地周辺に限らず、住宅地を含む市内全域に生息しており、完全駆除が難しい。 ・捕獲従事者の高齢化が懸念され、将来的な捕獲従事者の確保が必要である。 ・民間業者による加工処理施設において、ジビエの普及拡大、販路の確保が喫緊の課題となっている。		

今後の方向性（ACTION）

事業の方向性		改善・改革の手法	
B:事業の実施方法やコスト等について改善が必要		⑤更なる事業の推進	
課題を解決する具体的な取組(具体的にどのような考え方で、課題を解決していくのか)			
・完全駆除に向けて広域的な連携を強化していく。 ・捕獲従事者の確保に努める。 ・民間事業者と協力してジビエの普及に努める。			
企画政策課の評価		評価理由	
B A:計画どおり事業継続が 適当 B:事業改善の検討が必要 C:事業の休止・廃止の検 討が必要 D:事業終了が適当		有害鳥獣対策を実施することは、農作物被害を減らすとともに優良農地 の保全に資すると認められる。引き続き、関係機関と連携し更なる事業 推進に努めていただきたい。一方で、喫緊の課題である捕獲従事者確 保等について、対策を検討いただきたい。	

令和3年度 3か年事務事業戦略シート

基本計画					
節	テーマ	施策	展開	テーマ名	施策名
3	1	5	3	農林業	農産物のブランド化と販路拡大
実施計画事業名					
農産物直売所運営支援費					

予算科目				
款	項	目	事	事業名
5	01	03	07	農産物直売所運営支援費
担当課・係等				
農政課振興係				

実施計画整理番号	
301050301	
総合戦略 整理番号	

事務事業の概要（PLAN）	事業の目標・目的（誰・何をどのような状態にするか）	主な活動内容（目標を達成するために何を行うか）
	消費者に地元で収穫された新鮮で安全安心な農作物を供給する直売所の充実が図られる。 併せて、直売所の需要に合わせた少量多品種の農作物生産を推進することで、生産者の所得安定と農業振興が図られる。	安定的な農作物の供給を図るため、直売所の適切な維持管理に努める。
	基本計画への寄与（基本計画の施策等の推進にどのように寄与しているか）	
	地元消費者に対し、地元で生産された安心安全な農作物を提供する場として農産物直売所の適切な維持管理を行う。また、さらなる充実を図ることにより、基本計画の「農産物のブランド化と販路拡大」に寄与することができる。	

投入される行政コスト（DO）	区分		令和3年度			令和4年度			令和5年度		
			計画	予算	決算	計画	予算	決算	計画	予算	決算
	事業費		千円	1,992	1,992	1,958	1,992				
	財源内訳	国補助	千円	1,958	1,958	1,958	1,958				
		県補助	千円								
		市債	千円								
		その他	千円								
		一般財源	千円	34	34	0	34				
	人工数		人	0.53							
	人件費		千円	3,971							

手 段(DO)	活動指標	単位	2年度	3年度	4年度	5年度																		
直売所の安定的な運営を支援するため、継続して施設用地の借り上げを実施する。			目標値																					
			実績値																					
			目標値																					
			実績値																					
成 果	成果指標	単位	2年度	3年度	4年度	5年度																		
生産者の所得安定と農業振興を図る。	直売所の売上額	円	目標値	300,000,000	300,000,000	300,000,000	300,000,000																	
			実績値	269,007,919	260,752,662																			
活動指標の動向			成果指標の動向																					
			売上額 <table><tr><th>年度</th><th>目標値</th><th>実績値</th></tr><tr><td>R1</td><td>3,000,000,000</td><td>2,690,079,119</td></tr><tr><td>R2</td><td>3,000,000,000</td><td>2,607,526,662</td></tr><tr><td>R3</td><td>3,000,000,000</td><td>2,607,526,662</td></tr><tr><td>R4</td><td>3,000,000,000</td><td></td></tr><tr><td>R5</td><td>3,000,000,000</td><td></td></tr></table>				年度	目標値	実績値	R1	3,000,000,000	2,690,079,119	R2	3,000,000,000	2,607,526,662	R3	3,000,000,000	2,607,526,662	R4	3,000,000,000		R5	3,000,000,000	
年度	目標値	実績値																						
R1	3,000,000,000	2,690,079,119																						
R2	3,000,000,000	2,607,526,662																						
R3	3,000,000,000	2,607,526,662																						
R4	3,000,000,000																							
R5	3,000,000,000																							

令和3年度 3か年事務事業戦略シート

基本計画					予算科目					整理番号
節	テーマ	施策	展開	実施計画事業名	款	項	目	事	事業名	
3	1	5	3	農産物直売所運営支援費	5	01	03	07	農産物直売所運営支援費	301050301

課題抽出（CHECK）

活動内容と成果（具体的に何をしたか、どのような実績があったか）

・直売所施設用地を借り上げるにより、直売所の安定的な運営を支援した。

必要性の評価

有効性の評価

効率性の評価

A: 必要性が高い

A: 有効性が高い

A: 効率性が高い

総合評価

A: 十分な成果を挙げた（目標・目的を達成している）

分析・評価（活動してどのような課題があったか）

・現状としては、コロナ禍の巣ごもり需要の影響により売上は好調を維持している状況である。

今後の方向性（ACTION）

事業の方向性

改善・改革の手法

A: 計画どおり事業を進めることが適当

⑤更なる事業の推進

課題を解決する具体的な取組（具体的にどのような考え方で、課題を解決していくのか）

・引き続き直売所の運営を支援するとともに、来場者アンケート等により、商品の品質や、品ぞろえ等、来場者のニーズを把握し、直売所の売上の向上、ひいては生産者の所得安定と農業振興を図っていく。

企画政策課の評価

評価理由

A

A: 計画どおり事業継続が適当

B: 事業改善の検討が必要

C: 事業の休止・廃止の検討が必要

D: 事業終了が適当

直売所の適切な維持管理を図ることで、生産者の所得安定と農業振興に資する事業と認められる。引き続き、直売所の運営を支援するとともに、来場者のニーズ等を調査し、更なる農業振興につなげていただきたい。

令和3年度 3か年事務事業戦略シート

基本計画					
節	テーマ	施策	展開	テーマ名	施策名
3	1	5	4	農林業	農産物のブランド化と販路拡大
実施計画事業名					
茂原六斎市再活性化事業					

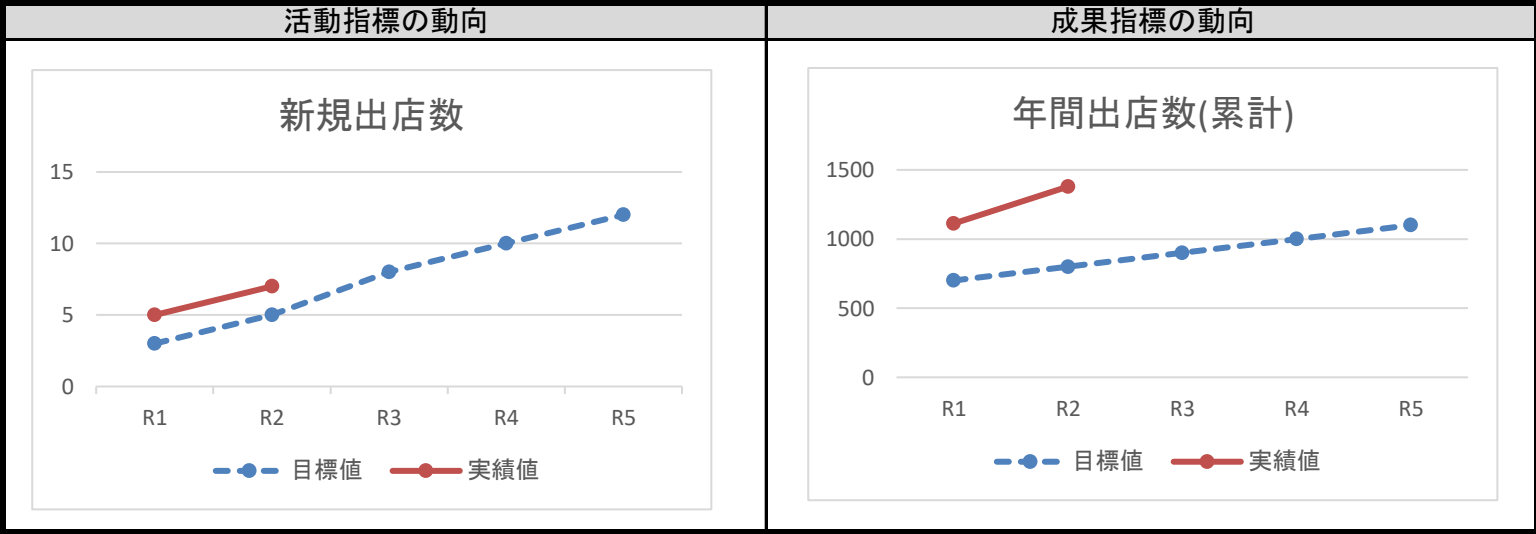
予算科目				
款	項	目	事	事業名
5	01	03	10	茂原六斎市再活性化事業
担当課・係等				
農政課振興係				

実施計画整理番号	
301050401	
総合戦略 整理番号	

事務事業の概要 (PLAN)	事業の目標・目的(誰・何をどのような状態にするか)	主な活動内容(目標を達成するために何を行うか)
	茂原六斎市再活性化協議会が実施する様々な活動やイベント等により、歴史ある茂原六斎市の再活性化が図られる。農業者による新鮮野菜等の新たな販路となることで農業生産を豊かなものにする。	茂原六斎市再活性化協議会の実施する活動を推進するため補助金を交付する。
	基本計画への寄与(基本計画の施策等の推進にどのように寄与しているか)	
	農業振興や、農業者の販路の一つとなるとともに、歴史と伝統ある「市」が、本市で行われていることで、地域活性化にもつながる。「市」の再活性化を支援することで、地域活性化につながり、ひいては施策「農産物のブランド化と販路拡大」に寄与している。	

投入される行政コスト(DO)	区分		令和3年度			令和4年度			令和5年度		
		単位	計画	予算	決算	計画	予算	決算	計画	予算	決算
	事業費		150	150	150	150					
	財源内訳	国補助	千円								
		県補助	千円								
		市債	千円								
		その他	千円								
		一般財源	千円	150	150	150					
	人工数		人	0.73							
	人件費		千円	5,483							

手 段(DO)	活動指標	単位	2年度	3年度	4年度	5年度
六斎市の認知度を向上を目指し、イベントの実施などでPRを行う。	新規出店数	回	目標値 3	5	8	10
			実績値 5	7		
			目標値			
			実績値			
成 果	成果指標	単位	2年度	3年度	4年度	5年度
「市」が再活性化されるとともに、新たな販路拡大により農業者の意欲向上が図られる。	年間出店数(累計)	店	目標値 700	800	900	1,000
			実績値 1,112	1,379		



令和3年度 3か年事務事業戦略シート

基本計画					予算科目					整理番号
節	テーマ	施策	展開	実施計画事業名	款	項	目	事	事業名	
3	1	5	4	茂原六斎市再活性化事業	5	01	03	10	茂原六斎市再活性化事業	301050401

課題抽出 (CHECK)	活動内容と成果(具体的に何をしたか、どのような実績があったか)		
	・茂原六斎市の再活性を図るためにも、市が江戸時代から続くとされる伝統ある市であることなど、改めて認知度を向上させるために、会場において市をPRする横断幕を新たに設置した。 ・また、市の開催日など内容を明記したトートバックも新たに作成し、新たな周知を図ったことにより、新規出店が増加した。		
	必要性の評価	有効性の評価	効率性の評価
	B: 必要性が認められる	B: 有効性が認められる	B: 効率性が認められる
	総合評価		
	B: ある程度の成果を挙げた(目標・目的を概ね達成している)		
	分析・評価(活動してどのような課題があったか)		
	・新規出店は増えているものの、出店者の高齢化が進んでいる。		

今後の方向性 (ACTION)	事業の方向性		改善・改革の手法	
	B: 事業の実施方法やコスト等について改善が必要		③連携・協働の推進	
	課題を解決する具体的な取組(具体的にどのような考え方で、課題を解決していくのか)			
	・若い世代の出店者を増やすためにも、SNSなど様々な方法を駆使して、情報発信を行っていく。			
	企画政策課の評価		評価理由	
	B	A: 計画どおり事業継続が 適当 B: 事業改善の検討が必要 C: 事業の休止・廃止の検討が必要 D: 事業終了が適当	農業者の新たな販路の創出に資する事業と認められるが、茂原六斎市の再活性化への効果がどの程度あるかは判断できない。今後は、新規出店者の増加を図るとともに、より効果的な再活性化手法等について、出店者とも連携して進めていただきたい。	

令和3年度 3か年事務事業戦略シート

基本計画					
節	テーマ	施策	展開	テーマ名	施策名
3	1	6	1	農林業	林業の振興
実施計画事業名					
森林整備事業					

予算科目					
款 項 目 事				事業名	
5	01	01	02	森林整備事業	
担当課・係等					
農政課農地保全係					

実施計画整理番号	
301060101	
総合戦略 整理番号	

事務事業の概要 (PLAN)	事業の目標・目的(誰・何をどのような状態にするか)	主な活動内容(目標を達成するために何を行うか)
	森林環境譲与税を活用し、市内民有林の適切な保育・管理を行い、土砂災害の防止など森林のもつ公益的機能の向上とともに里山の保全が図られる。	森林整備計画の策定業務委託を行う中で、森林の現況を把握し、整備の指標となるゾーニングを明確にすることで、適切な間伐を行っていく。
	基本計画への寄与(基本計画の施策等の推進にどのように寄与しているか)	
	市内人工林において、近年では整備の行き届いていない放置森林が増加し、整備を行う必要がある。森林環境譲与税を活用し土砂災害の防止など、森林の持つ公益的機能の保全に向けた森林整備、森林と林道の計画的な整備、を行うことで、ひいては施策「林業の振興」に寄与する。	

投入される行政コスト (DO)	区分	単位	令和3年度			令和4年度			令和5年度		
			計画	予算	決算	計画	予算	決算	計画	予算	決算
	事業費	千円	3,683	4,270	3,970	12,033					
	財源内訳	国補助	千円								
		県補助	千円								
		市債	千円								
		その他	千円								
		一般財源	千円	3,683	4,270	3,970	12,033				
	人工数	人	0.9								
	人件費	千円	6,806								

手 段(DO)	活動指標	単位	2年度	3年度	4年度	5年度
令和3年度に策定した森林環境整備基本計画を基に、森林環境整備業務委託を行い、市内人工林の整備を実施する。	森林環境整備面積	ha	目標値		0.5	1
			実績値			
			目標値			
			実績値			
成 果	成果指標	単位	2年度	3年度	4年度	5年度
市内人工林の適切な管理・保全が行え、森林の持つ公益的機能が発揮される。			目標値			
			実績値			

活動指標の動向	成果指標の動向
森林環境整備 —●— 目標値 —●— 実績値	

令和3年度 3か年事務事業戦略シート

基本計画					予算科目					整理番号
節	テーマ	施策展開	実施計画事業名		款	項	目	事	事業名	301060101
3	1	6	1	森林整備事業	5	01	01	02	森林整備事業	

課題抽出 (CHECK)	活動内容と成果(具体的に何をしたか、どのような実績があったか)		
	・森林環境整備基本計画を策定した。 ・千葉県及び市町村が取り組む新経営管理に関する施策の推進や、相談対応、提案、情報共有等を目的とした千葉県森林経営管理協議会へ加盟した。 ・次年度以降の森林環境整備を目的とした茂原市森林環境整備基金へ積立てを実施した。		
	必要性の評価	有効性の評価	効率性の評価
	A: 必要性が高い	A: 有効性が高い	A: 効率性が高い
	総合評価		
	B: ある程度の成果を挙げた(目標・目的を概ね達成している)		
	分析・評価(活動してどのような課題があったか)		
	・市内森林の現況把握ができておらず、手入れのされていない森林が多い状況にある。 ・風倒木により災害の危険のある区域についても、その詳細は把握していないため、民間企業と連携し、データ管理を行う必要性が求められる。		

今後の方向性 (ACTION)	事業の方向性		改善・改革の手法	
	B: 事業の実施方法やコスト等について改善が必要		③連携・協働の推進	
	課題を解決する具体的な取組(具体的にどのような考え方で、課題を解決していくのか)			
	・森林環境譲与税を活用し、計画的な森林環境整備を優先順位に基づき実施していく。			
	企画政策課の評価		評価理由	
	B	A: 計画どおり事業継続が 適当 B: 事業改善の検討が必要 C: 事業の休止・廃止の検討が必要 D: 事業終了が適当	市内人工林の整備計画を策定することで、適切な管理・保全につながる事業と認められる。引き続き、関係機関とも連携してより効果的で計画的な事業実施に努めていただきたい。	

令和3年度 3か年事務事業戦略シート

基本計画					
節	テーマ	施策	展開	テーマ名	施策名
3	2	1	2	商工業・中小企業	商業基盤の整備
実施計画事業名					
商業振興対策事業					

予算科目				
款	項	目	事	事業名
6	01	02	04	商業振興対策事業
担当課・係等				
商工観光課 振興係				

実施計画整理番号	
302010201	
総合戦略 整理番号	12201

事務事業の概要 (PLAN)	事業の目標・目的(誰・何をどのような状態にするか)	主な活動内容(目標を達成するために何を行うか)
	・商店街が共同で実施するソフト事業や施設整備を支援し、中心市街地の活気と賑わいを創出する。 ・商店街及び商業事業者を支援することで、本市の商業機能を高める。	・商店街が共同で実施する販売促進事業や空き店舗対策等を支援する。 ・商店街が共同で設置する駐車場や街路灯などの施設に係る費用負担を軽減する。 ・空き店舗の活用に向け、出店時の経済的負担を軽減する。
	基本計画への寄与(基本計画の施策等の推進にどのように寄与しているか)	
	商店街の環境整備や商業機能の充実にに向けた取り組みを支援することにより、ひいては施策「商業基盤の整備」に寄与する	

投入される行政コスト(DO)	区分		令和3年度			令和4年度			令和5年度		
			計画	予算	決算	計画	予算	決算	計画	予算	決算
	事業費		千円	1,650	1,650	1,073	1,350				
	財源内訳	国補助	千円								
		県補助	千円								
		市債	千円								
		その他	千円								
		一般財源	千円	1,650	1,650	1,073	1,350				
	人工数		人	0.29							
	人件費		千円	2,194							

手 段(DO)	活動指標	単位	2年度	3年度	4年度	5年度																		
商店街の環境整備や商業機能の充実にに向けた取り組みに対し支援を行う	各商店街等へのニーズに応じた支援	目標値																						
		実績値																						
		目標値																						
		実績値																						
成 果	成果指標	単位	2年度	3年度	4年度	5年度																		
まちの活気とにぎわいを創出する	各商店街への入込客数 (調査は隔年実施)	人	目標値	3,000	3,000	3,000	3,000																	
			実績値	2,853	—																			
活動指標の動向			成果指標の動向																					
			商店街への入込客数 <table><tr><th>年度</th><th>目標値</th><th>実績値</th></tr><tr><td>R1</td><td>3,000</td><td>3,000</td></tr><tr><td>R2</td><td>3,000</td><td>2,853</td></tr><tr><td>R3</td><td>3,000</td><td></td></tr><tr><td>R4</td><td>3,000</td><td></td></tr><tr><td>R5</td><td>3,000</td><td></td></tr></table>				年度	目標値	実績値	R1	3,000	3,000	R2	3,000	2,853	R3	3,000		R4	3,000		R5	3,000	
年度	目標値	実績値																						
R1	3,000	3,000																						
R2	3,000	2,853																						
R3	3,000																							
R4	3,000																							
R5	3,000																							

令和3年度 3か年事務事業戦略シート

基本計画					予算科目					整理番号
節	テーマ	施策	展開	実施計画事業名	款	項	目	事	事業名	
3	2	1	2	商業振興対策事業	6	01	02	04	商業振興対策事業	302010201

課題抽出 (CHECK)

活動内容と成果(具体的に何をしたか、どのような実績があったか)		
・空き店舗対策事業(2件495,000円)、共同施設の維持管理費(2件578,000円)を補助した。 ・商業従事者向けセミナーについては、新型コロナウイルス感染拡大により中止となった。 ・商店会等の各種イベントについては、新型コロナウイルス感染拡大により中止となったが、商店街等の共同施設の維持管理により安全・安心な商店街の形成に寄与した。		
	有効性の評価	効率性の評価
A: 必要性が高い	A: 有効性が高い	B: 効率性が認められる
総合評価		
B: ある程度の成果を挙げた(目標・目的を概ね達成している)		
分析・評価(活動してどのような課題があったか)		
・商業従事者向けセミナー等については、コロナ禍でも開催できる対策が必要である。		

今後の方向性
(ACTION)

事業の方向性		改善・改革の手法	
B:事業の実施方法やコスト等について改善が必要		⑤更なる事業の推進	
課題を解決する具体的な取組(具体的にどのような考え方で、課題を解決していくのか)			
・商業従事者向けセミナーについては、zoom等オンラインを活用し、コロナ禍における開催方法を検討し、実施していく。 ・各商店会等の支援を継続していくとともに、商店街等の共同施設の維持管理により、安全・安心な商店街の形成に努めていく。			
企画政策課の評価		評価理由	
B A:計画どおり事業継続が 適当 B:事業改善の検討が必要 C:事業の休止・廃止の 検討が必要 D:事業終了が適当		商店街の環境整備を支援することで、安全・安心な商店街の形成に一定の成果があったと認められる。一方で、商店街のにぎわいの創出に効果があるとは判断できない。商店街を取り巻く環境が変化していることもあるが、本市の実状を鑑み、今後の支援を検討いただきたい。	

令和3年度 3か年事務事業戦略シート

基本計画					
節	テーマ	施策	展開	テーマ名	施策名
3	2	2	1	商工業・中小企業	工業の振興
実施計画事業名					
企業立地促進事業					

予算科目				
款	項	目	事	事業名
6	01	02	06	企業立地促進事業
担当課・係等				
商工観光課振興係				

実施計画整理番号	
302020101	
総合戦略 整理番号	11101

事務事業の概要 (PLAN)	事業の目標・目的(誰・何をどのような状態にするか)	主な活動内容(目標を達成するために何を行うか)
	・企業立地を促進し、本市における就業機会の拡大、定住人口の増加を図る。	・企業動向を踏まえた効果的かつ効率的な企業訪問を実施する。 ・進出した指定事業者に対し奨励金を交付する。
	基本計画への寄与(基本計画の施策等の推進にどのように寄与しているか)	
	産業構造が大きく変化している中、新たな産業に対応した企業誘致の推進により地域全体の産業競争力を高め、ひいては施策「工業の振興」に寄与する。	

投入される行政コスト (DO)	区分		令和3年度			令和4年度			令和5年度		
		単位	計画	予算	決算	計画	予算	決算	計画	予算	決算
	事業費		千円	51,887	51,887	51,454	50,387				
	財源内訳	国補助	千円								
		県補助	千円								
		市債	千円								
		その他	千円								
		一般財源	千円	51,887	51,887	51,454	50,387				
	人工数		人	1.08							
	人件費		千円	8,169							

手 段(DO)	活動指標	単位	2年度	3年度	4年度	5年度																		
企業動向を踏まえた効果的かつ効率的な企業訪問を実施する。	企業情報の収集及び本市の情報発信の強化		目標値																					
			実績値																					
			目標値																					
			実績値																					
成 果	成果指標	単位	2年度	3年度	4年度	5年度																		
企業立地を促進し、本市における就業機会の拡大、定住人口の増加を図る。	企業立地奨励金の交付を受けて企業立地した件数	件	目標値																					
			実績値		1																			
活動指標の動向			成果指標の動向																					
			企業立地奨励金の交付を受けて企業立地した件数 <table><tr><th>年度</th><th>目標値</th><th>実績値</th></tr><tr><td>R1</td><td>0</td><td>0</td></tr><tr><td>R2</td><td>0</td><td>0</td></tr><tr><td>R3</td><td>1</td><td>1</td></tr><tr><td>R4</td><td>1</td><td>1</td></tr><tr><td>R5</td><td>1</td><td>1</td></tr></table>				年度	目標値	実績値	R1	0	0	R2	0	0	R3	1	1	R4	1	1	R5	1	1
年度	目標値	実績値																						
R1	0	0																						
R2	0	0																						
R3	1	1																						
R4	1	1																						
R5	1	1																						

令和3年度 3か年事務事業戦略シート

基本計画					予算科目					整理番号
節	テーマ	施策	展開	実施計画事業名	款	項	目	事	事業名	
3	2	2	1	企業立地促進事業	6	01	02	06	企業立地促進事業	302020101

課題抽出（CHECK）

活動内容と成果（具体的に何をしたか、どのような実績があったか）

・具体的な誘致には至らなかったが、企業訪問等を行うことにより情報収集を行った。

必要性の評価

有効性の評価

効率性の評価

A: 必要性が高い

A: 有効性が高い

A: 効率性が高い

総合評価

B: ある程度の成果を挙げた（目標・目的を概ね達成している）

分析・評価（活動してどのような課題があったか）

・立地希望企業への空き公共施設の跡地利用を含めた立地候補地についての情報提供が課題である。

今後の方向性（ACTION）

事業の方向性

改善・改革の手法

B: 事業の実施方法やコスト等について改善が必要

⑤更なる事業の推進

課題を解決する具体的な取組（具体的にどのような考え方で、課題を解決していくのか）

・企業誘致活動に有効な企業情報の収集及び本市の情報発信の強化を図る。

企画政策課の評価

評価理由

B

A: 計画どおり事業継続が
適当
B: 事業改善の検討が必要
C: 事業の休止・廃止の検
討が必要
D: 事業終了が適当

新たな企業立地の促進に資する事業であるが、企業動向に左右されるため成果を図ることが困難である。本市の立地することの優位性をより効果的に情報発信することに努めていただきたい。

令和3年度 3か年事務事業戦略シート

基本計画					
節	テーマ	施策	展開	テーマ名	施策名
3	2	2	2	商工業・中小企業	工業の振興
実施計画事業名					
雇用促進事業					

予算科目				
款	項	目	事	事業名
6	01	02	08	ちば共創都市圏広域連携協議会共同事業
担当課・係等				
商工観光課 振興係				

実施計画整理番号	
302020201	
総合戦略 整理番号	12101

事務事業の概要 (PLAN)	事業の目標・目的(誰・何をどのような状態にするか)	主な活動内容(目標を達成するために何を行うか)
	・千葉市以東、以南の周辺都市との広域連携により産業人材の育成や企業立地などを促進し、持続可能な都市、地域社会の形成を推進する。	・ちば共創都市圏広域連携協議会(千葉市、市原市、茂原市、大網白里市、東金市、四街道市)の事業として圏域内企業の優れた技術や製品等を紹介する。 ・中学生向けのパンフレット等を作成し、ものづくりや地元へ関心を持つよう促す。 ・既存企業のマッチングによる販路拡大や技術交流等を図る。
	基本計画への寄与(基本計画の施策等の推進にどのように寄与しているか)	
	千葉市以東・以南の周辺都市との広域連携により産業人材の育成や企業立地などを促進し、ひいては施策「工業の振興」に寄与する。	

投入される行政コスト (DO)	区分		令和3年度			令和4年度			令和5年度		
			計画	予算	決算	計画	予算	決算	計画	予算	決算
	事業費		千円	459	459	403	459				
	財源内訳	国補助	千円								
		県補助	千円								
		市債	千円								
		その他	千円								
		一般財源	千円	459	459	403	459				
	人工数		人	0.38							
	人件費		千円	2,874							

手 段(DO)	活動指標	単位	2年度	3年度	4年度	5年度
圏域内企業の優れた技術や製品等の紹介及び既存企業のマッチングによる販路拡大や技術交流等を図る。	企業間マッチング事業参加企業数	社	目標値 42	42	42	42
			実績値 中止	100 (オンライン開催)		
			目標値			
			実績値			
成 果	成果指標	単位	2年度	3年度	4年度	5年度
千葉市以東、以南の周辺都市との広域連携により産業人材の育成や企業立地などを促進し、持続可能な都市、地域社会の形成を推進する。	広域連携による産業人材の育成や企業立地などの促進		目標値			
			実績値			

活動指標の動向	成果指標の動向																		
企業間マッチング事業参加企業数 <table><caption>企業間マッチング事業参加企業数</caption><tr><th>年度</th><th>目標値</th><th>実績値</th></tr><tr><td>R1</td><td>42</td><td>0</td></tr><tr><td>R2</td><td>42</td><td>0</td></tr><tr><td>R3</td><td>42</td><td>100</td></tr><tr><td>R4</td><td>42</td><td>0</td></tr><tr><td>R5</td><td>42</td><td>0</td></tr></table>	年度	目標値	実績値	R1	42	0	R2	42	0	R3	42	100	R4	42	0	R5	42	0	
年度	目標値	実績値																	
R1	42	0																	
R2	42	0																	
R3	42	100																	
R4	42	0																	
R5	42	0																	

令和3年度 3か年事務事業戦略シート

基本計画					予算科目					整理番号
節	テーマ	施策	展開	実施計画事業名	款	項	目	事	事業名	
3	2	2	2	雇用促進事業	6	01	02	08	ちば共創都市圏広域連携協議会共同事業	302020201

課題抽出 (CHECK)	活動内容と成果(具体的に何をしたか、どのような実績があったか)		
	・中学生向けのパンフレット等を作成し、ものづくりや地元へ関心を持つよう促した。(全体で14,000冊作成、内820冊を市内6中学校に配布) ・千葉市以東・以南の周辺都市(千葉市・市原市・茂原市・東金市)におけるマッチングイベントはオンライン開催となったが、参加見込み42社に対し、予定を上回る100社・159人の参加があった。		
	必要性の評価	有効性の評価	効率性の評価
	A: 必要性が高い	A: 有効性が高い	A: 効率性が高い
	総合評価		
	B: ある程度の成果を挙げた(目標・目的を概ね達成している)		
	分析・評価(活動してどのような課題があったか)		
	マッチングイベントについては、対面方式での開催などアフターコロナを見据えた開催方法を検討する必要がある。		

今後の方向性 (ACTION)	事業の方向性		改善・改革の手法	
	B: 事業の実施方法やコスト等について改善が必要		⑤更なる事業の推進	
	課題を解決する具体的な取組(具体的にどのような考え方で、課題を解決していくのか)			
	引き続き千葉市以東・以南の周辺都市(千葉市、市原市、茂原市、大網白里市、東金市、四街道市)との連携を図る。			
	企画政策課の評価		評価理由	
	B	A: 計画どおり事業継続が 適当 B: 事業改善の検討が必要 C: 事業の休止・廃止の検討が必要 D: 事業終了が適当	広域連携により、より効果的・効率的に産業人材の育成や企業立地などの促進に資する事業と認められる。引き続き、関連自治体との連携を図り、更なる事業の推進に努めていただきたい。	

令和3年度 3か年事務事業戦略シート

基本計画					
節	テーマ	施策	展開	テーマ名	施策名
3	2	3	1	商工業・中小企業	中小企業の支援
実施計画事業名					
商工団体支援事業					

予算科目				
款	項	目	事	事業名
6	01	02	05	商工団体支援事業
担当課・係等				
商工観光課 振興係				

実施計画整理番号	
302030101	
総合戦略 整理番号	

事務事業の概要 (PLAN)	事業の目標・目的(誰・何をどのような状態にするか)	主な活動内容(目標を達成するために何を行うか)
	・商工業振興のための事業や小規模事業者の経営又は技術の改善発達のための事業を通じ、中小企業の経営の近代化と地域産業の活性化を図る。	・茂原商工会議所が実施する商工業発展のための事業及び小規模事業者の経営又は技術の改善発達のための事業に対し補助金を交付する。 ・県内商工団体に加盟し、指定団地の高度化、県内経済に関する情報収集、他団体との連携を図る。
	基本計画への寄与(基本計画の施策等の推進にどのように寄与しているか)	
	商工業振興のための事業を展開する商工会議所への支援を通じ、市内商工業者・小規模事業者の振興を図り、ひいては施策「中小企業の支援」に寄与する。	

投入される行政コスト (DO)	区分		令和3年度			令和4年度			令和5年度		
			計画	予算	決算	計画	予算	決算	計画	予算	決算
	事業費		千円	8,893	8,893	8,653	8,893				
	財源内訳	国補助	千円								
		県補助	千円								
		市債	千円								
		その他	千円								
		一般財源	千円	8,893	8,893	8,653	8,893				
	人工数		人	0.29							
	人件費		千円	2,194							

手 段(DO)	活動指標	単位	2年度	3年度	4年度	5年度
商工業振興のための事業を展開する商工会議所への支援を行う	商工会議所に対し補助金を交付	目標値				
		実績値				
		目標値				
		実績値				
成 果	成果指標	単位	2年度	3年度	4年度	5年度
中小企業の経営の近代化と地域産業の活性化を図る。	中小企業の経営の近代化と地域産業の活性化	目標値				
		実績値				
活動指標の動向			成果指標の動向			

令和3年度 3か年事務事業戦略シート

基本計画					予算科目					整理番号
節	テーマ	施策	展開	実施計画事業名	款	項	目	事	事業名	
3	2	3	1	商工団体支援事業	6	01	02	05	商工団体支援事業	302030101

課題抽出（CHECK）	活動内容と成果（具体的に何をしたか、どのような実績があったか）		
	・商工会議所が行う商工業支援のための事業や小規模事業者の経営又は改善・発達のための事業を支援した。 ・関係団体の事業をととして、事業環境改善に努めた。		
	必要性の評価	有効性の評価	効率性の評価
	A: 必要性が高い	A: 有効性が高い	A: 効率性が高い
	総合評価		
	A: 十分な成果を挙げた（目標・目的を達成している）		
	分析・評価（活動してどのような課題があったか）		
	商工会議所の事業を支援することにより、市内商工業者、小規模事業者の振興を図ることができたが、コロナ禍でも商工会議所の事業が効果的なものとなるよう検討する必要がある。		

今後の方向性（ACTION）	事業の方向性	改善・改革の手法
	A: 計画どおり事業を進めることが適当	⑤更なる事業の推進
	課題を解決する具体的な取組（具体的にどのような考え方で、課題を解決していくのか）	
	引き続き商工会議所の事業を支援し、市内商工業者・小規模事業者の振興を図るとともに、より効果的な事業となるよう連携していく。	
	企画政策課の評価	評価理由
	A: 計画どおり事業継続が適当 B: 事業改善の検討が必要 C: 事業の休止・廃止の検討が必要 D: 事業終了が適当	市内商工業者・小規模事業者の振興を図る事業と認められる。引き続き、商工会議所の活動を支援することで、地域産業の活性化につなげていきたい。

令和3年度 3か年事務事業戦略シート

基本計画					
節	テーマ	施策	展開	テーマ名	施策名
3	2	3	2	商工業・中小企業	中小企業の支援
実施計画事業名					
中小企業者等振興総合支援事業					

予算科目				
款	項	目	事	事業名
6	01	02	8	中小事業者サポート事業
担当課・係等				
商工観光課 振興係				

実施計画整理番号	
302030201	
総合戦略 整理番号	12102

事務事業の概要 (PLAN)	事業の目標・目的(誰・何をどのような状態にするか)	主な活動内容(目標を達成するために何を行うか)
	・市内中小企業の経営向上を目指した取り組みを支援し、事業活動の活性化を図る。	・中小企業が取り組む幅広い分野における事業活動の活発化に向け、包括的に補助金を交付し、経済的負担を軽減する。 ・必要に応じたメニューの見直し等を実施する。
	基本計画への寄与(基本計画の施策等の推進にどのように寄与しているか)	
	中小企業者が取り組む販路拡大、人材確保・育成などのついて総合的な支援を行うことにより、持続的な成長や振興を図り、ひいては施策「中小企業の支援」に寄与する。	

投入される行政コスト (DO)	区分		令和3年度			令和4年度			令和5年度		
			計画	予算	決算	計画	予算	決算	計画	予算	決算
	事業費		千円	2,010	2,010	189	2,310				
	財源内訳	国補助	千円								
		県補助	千円								
		市債	千円								
		その他	千円								
		一般財源	千円	2,010	2,010	189	2,310				
	人工数		人	0.39							
	人件費		千円	2,949,270							

手 段(DO)	活動指標	単位	2年度	3年度	4年度	5年度
市内中小企業の経営向上を目指した取り組みを支援。	補助金を交付し、経済的負担を軽減		目標値			
			実績値			
			目標値			
			実績値			
成 果	成果指標	単位	2年度	3年度	4年度	5年度
市内中小企業の事業活動の活性化を図る。	中小企業者のニーズに応じた総合的な支援の実施		目標値			
			実績値			
活動指標の動向			成果指標の動向			

令和3年度 3か年事務事業戦略シート

基本計画					予算科目					整理番号
節	テーマ	施策	展開	実施計画事業名	款	項	目	事	事業名	
3	2	3	2	中小企業者等振興総合支援事業	6	01	02	8	中小事業者サポート事業	302030201

課題抽出（CHECK）

活動内容と成果（具体的に何をしたか、どのような実績があったか）		
・中小企業者に対し補助金を交付することで、経済的負担を軽減した。人材確保・育成支援補助金=1件84,000円、販路拡大支援補助金=1件100,000円、外国人観光客受入環境整備支援補助金=0件0円。 ・工場見学会は、コロナ禍により中止となった。		
必要性の評価	有効性の評価	効率性の評価
A: 必要性が高い	A: 有効性が高い	A: 効率性が高い
総合評価		
B: ある程度の成果を挙げた（目標・目的を概ね達成している）		
分析・評価（活動してどのような課題があったか）		
・中小企業の事業活動の活性化に効果があったと思われるが、支援制度の中でも利用実績に差があることから、支援メニューの検討を行う必要がある。 ・工場見学会について、コロナ禍においても開催できる方法の検討が必要である。		

今後の方向性（ACTION）

事業の方向性	改善・改革の手法
B: 事業の実施方法やコスト等について改善が必要	①業務の整理・統合・集約化
課題を解決する具体的な取組（具体的にどのような考え方で、課題を解決していくのか）	
・中小企業者のニーズを把握し、より効果的なメニューを検討していく。 ・工場見学会について、アフターコロナを見据えた開催方法を検討していく。	
企画政策課の評価	評価理由
B A: 計画どおり事業継続が 適当 B: 事業改善の検討が必要 C: 事業の休止・廃止の 検討が必要 D: 事業終了が適当	中小企業者の経営向上に一定の成果があったと認められる。引き続き、中小企業者のニーズを把握し本市の実状に沿った、より効果的な支援の実施に努めていただきたい。

令和3年度 3か年事務事業戦略シート

基本計画					
節	テーマ	施策	展開	テーマ名	施策名
3	2	3	3	商工業・中小企業	中小企業の支援
実施計画事業名					
中小企業資金融資事業					

予算科目				
款	項	目	事	事業名
6	01	02	01	中小企業資金融資事業
担当課・係等				
商工観光課 振興係				

実施計画整理番号	
302030301	
総合戦略 整理番号	

事務事業の概要 (PLAN)	事業の目標・目的(誰・何をどのような状態にするか)	主な活動内容(目標を達成するために何を行うか)
	・大企業に比べ資金調達面で多くの不利益を抱えた中小企業が、事業資金の融資を円滑に受けられるようにすることで中小企業の振興と経営の安定化を図る。	・市内6行12支店の金融機関及び商工組合中央金庫千葉支店に資金を預託し、中小企業への資金融資を行う。 ・茂原市制度融資利用者及び日本政策金融公庫小規模等経営改善資金融資制度利用者に対し、利子補給を行う。
	基本計画への寄与(基本計画の施策等の推進にどのように寄与しているか)	
	中小企業が事業上必要な資金を円滑に融資することにより、企業の振興と経営の安定化を図り、ひいては施策「中小企業の支援」に寄与する。	

投入される行政コスト (DO)	区分		令和3年度			令和4年度			令和5年度		
			計画	予算	決算	計画	予算	決算	計画	予算	決算
	事業費		千円	535,386	535,199	525,882	505,386				
	財源内訳	国補助	千円								
		県補助	千円								
		市債	千円								
		その他	千円	515,000	515,000	515,000	485,000				
		一般財源	千円	20,386	20,199	10,882	20,386				
	人工数		人	0.58							
	人件費		千円	5,143							

手 段(DO)	活動指標	単位	2年度	3年度	4年度	5年度
・市内6行12支店の金融機関及び商工組合中央金庫千葉支店に資金を預託し、中小企業への資金融資を行う。 ・茂原市制度融資利用者及び日本政策金融公庫小規模等経営改善資金融資制度利用者に対し、利子補給を行う。			目標値			
			実績値			
			目標値			
			実績値			
成 果	成果指標	単位	2年度	3年度	4年度	5年度
企業の振興と経営の安定化を図る			目標値			
			実績値			
活動指標の動向			成果指標の動向			

令和3年度 3か年事務事業戦略シート

基本計画					予算科目					整理番号
節	テーマ	施策	展開	実施計画事業名	款	項	目	事	事業名	
3	2	3	3	中小企業資金融資事業	6	01	02	01	中小企業資金融資事業	302030301

課題抽出（CHECK）

活動内容と成果（具体的に何をしたか、どのような実績があったか）

・中小企業融資の原資として、市内金融機関へ預託を行った。

・茂原市中小企業融資制度利用者に対して、利子補給を行った。

・商工会議所を通じて融資される日本政策金融公庫のマル経融資に対して、利子補給を行った。

・茂原市中小企業融資制度利用者が返済不能となった場合に、千葉県信用保証協会が代位弁済し、その一部を損失補償金として負担した。

必要性の評価	有効性の評価	効率性の評価
A: 必要性が高い	A: 有効性が高い	A: 効率性が高い

総合評価

A: 十分な成果を挙げた（目標・目的を達成している）

分析・評価（活動してどのような課題があったか）

融資及び利子補給により、中小企業者等の安定した資金調達、経営の安定と振興を図ることができたが、預託額や融資枠等について検討の必要がある。

今後の方向性（ACTION）

事業の方向性	改善・改革の手法
A: 計画どおり事業を進めることが適当	⑤更なる事業の推進

課題を解決する具体的な取組（具体的にどのような考え方で、課題を解決していくのか）

引き続き、融資及び利子補給により、中小企業者等の安定した資金調達、経営の安定と振興を図る。預託額や融資枠等について金融機関と協議を行っていく。

企画政策課の評価	評価理由
A A: 計画どおり事業継続が適当 B: 事業改善の検討が必要 C: 事業の休止・廃止の検討が必要 D: 事業終了が適当	融資と利子補給を実施することで中小企業の振興と経営の安定化に資する事業と認められる。引き続き、関係機関と連携した事業実施に努めていただきたい。

令和3年度 3か年事務事業戦略シート

基本計画					
節	テーマ	施策	展開	テーマ名	施策名
3	2	3	4	商工業・中小企業	中小企業の支援
実施計画事業名					
起業・創業支援事業					

予算科目				
款	項	目	事	事業名
6	01	02	03	起業・創業支援事業
担当課・係等				
商工観光課 振興係				

実施計画整理番号	
302030401	
総合戦略 整理番号	11201

事務事業の概要 (PLAN)	事業の目標・目的(誰・何をどのような状態にするか)	主な活動内容(目標を達成するために何を行うか)
	・茂原市創業支援等事業計画に基づき、潜在的な創業希望者を掘り起こすとともに、本市における創業機運を醸成する。 ・創業者・創業希望者を対象に、創業における基礎的な知識から実践的な知識の習得を図る。また、創業者・創業希望者の交流機会を創出し、新たなネットワークを構築する。	・起業・創業希望者に対して起業・創業の各段階に応じた継続的な支援を、商工会議所などの関係機関との連携強化及び相談窓口のワンストップ化などにより行う。 ・市内で起業・創業する者に対し、起業・創業時の経済的負担の軽減を図る。
	基本計画への寄与(基本計画の施策等の推進にどのように寄与しているか)	
	起業・創業希望者に対し学ぶ機会を確保することにより起業・創業の機運を高め、ひいては施策「中小企業の支援」に寄与する。	

投入される行政コスト (DO)	区分		令和3年度			令和4年度			令和5年度		
		単位	計画	予算	決算	計画	予算	決算	計画	予算	決算
	事業費		千円	2,457	2,457	1,815	2,457				
	財源内訳	国補助	千円								
		県補助	千円								
		市債	千円								
		その他	千円								
		一般財源	千円	2,457	2,457	1,815	2,457				
	人工数		人	0.39							
	人件費		千円	2,950							

手 段(DO)	活動指標	単位	2年度	3年度	4年度	5年度																		
・各種媒体を活用し、創業支援制度のPRに努めた。 ・茂原商工会議所が開催した創業塾を支援した。 ・新規創業者に対し補助金を交付することで経済的な負担を軽減した。			目標値																					
			実績値																					
			目標値																					
			実績値																					
成 果	成果指標	単位	2年度	3年度	4年度	5年度																		
創業者を支援することで本市における開業率を向上させ、地域の活性化、雇用の確保を図る。	創業支援等事業計画に基づき創業した件数	件	目標値	5	5	5	5																	
			実績値	5	6																			
活動指標の動向			成果指標の動向																					
			創業支援等事業計画に基づき創業した件数 <table><tr><th>年度</th><th>目標値</th><th>実績値</th></tr><tr><td>R1</td><td>5</td><td>6</td></tr><tr><td>R2</td><td>5</td><td>5</td></tr><tr><td>R3</td><td>5</td><td>6</td></tr><tr><td>R4</td><td>5</td><td>5</td></tr><tr><td>R5</td><td>5</td><td>5</td></tr></table>				年度	目標値	実績値	R1	5	6	R2	5	5	R3	5	6	R4	5	5	R5	5	5
年度	目標値	実績値																						
R1	5	6																						
R2	5	5																						
R3	5	6																						
R4	5	5																						
R5	5	5																						

令和3年度 3か年事務事業戦略シート

基本計画					予算科目					整理番号
節	テーマ	施策	展開	実施計画事業名	款	項	目	事	事業名	
3	2	3	4	起業・創業支援事業	6	01	02	03	起業・創業支援事業	302030401

課題抽出（CHECK）

活動内容と成果（具体的に何をしたか、どのような実績があったか）		
・茂原商工会議所が開催した創業塾の支援を行った。 ・新規創業者に対し補助金を交付することで経済的な負担を軽減した。 ・「起業家交流会」はコロナ禍で開催できなかった。		
必要性の評価	有効性の評価	効率性の評価
A: 必要性が高い	A: 有効性が高い	A: 効率性が高い
総合評価		
A: 十分な成果を挙げた（目標・目的を達成している）		
分析・評価（活動してどのような課題があったか）		
・起業・創業希望者や創業者に対して、茂原商工会議所や市内金融機関等と連携のうえで各段階に応じた支援を実施し、地域の活性化に寄与したが、コロナ禍で開催できなかった「起業家交流会」について、茂原商工会議所と連携し、開催方法を検討する必要がある。		

今後の方向性（ACTION）

事業の方向性	改善・改革の手法
A: 計画どおり事業を進めることが適当	⑤更なる事業の推進
課題を解決する具体的な取組（具体的にどのような考え方で、課題を解決していくのか）	
・起業・創業希望者や創業者に対して、茂原商工会議所や市内金融機関等と連携のうえで各段階に応じた支援を実施していく。 ・「起業家交流会」について、茂原商工会議所と連携し、コロナ禍でも開催できるよう検討していく。	
企画政策課の評価	評価理由
A	A: 計画どおり事業継続が適当 B: 事業改善の検討が必要 C: 事業の休止・廃止の検討が必要 D: 事業終了が適当 創業者を支援することで創業機運の向上、地域活性化に資する事業と認められる。引き続き、関係機関と連携した支援を実施するとともに、企業・創業者のニーズに沿い、より効果的な支援に努めていただきたい。

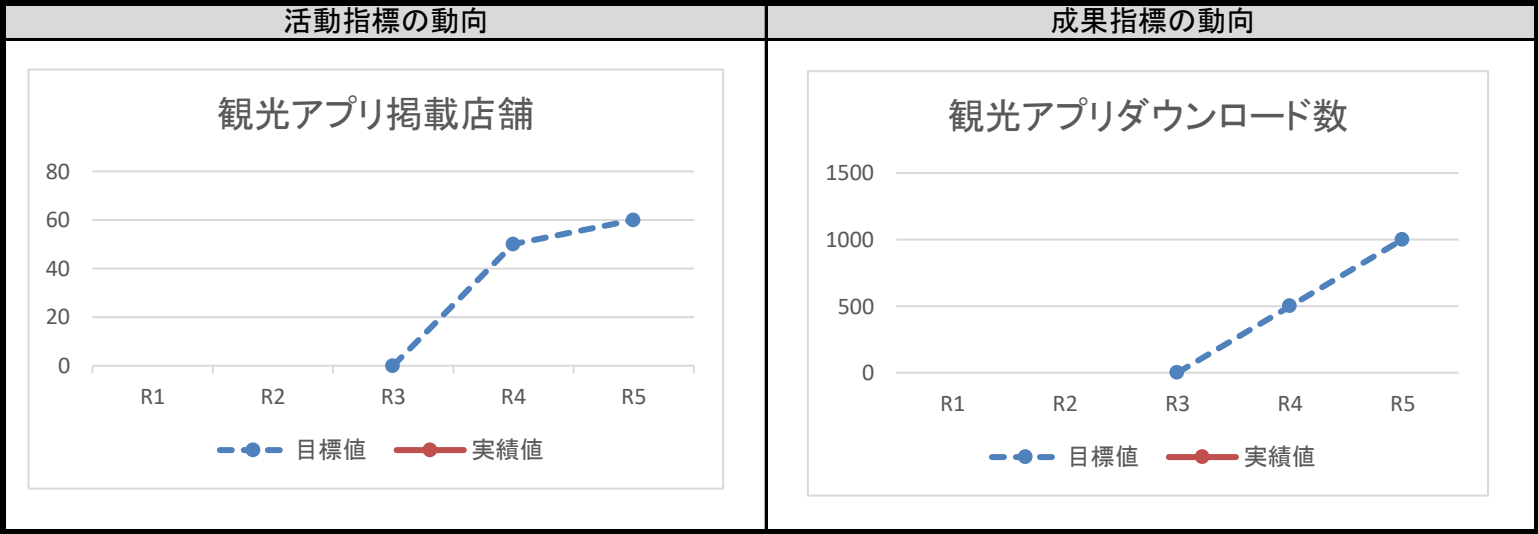
令和3年度 3か年事務事業戦略シート

基本計画						予算科目					実施計画整理番号	
節	テーマ	施策	展開	テーマ名	施策名	款	項	目	事	事業名	303010101	
3	3	1	1	シティプロモーション	観光資源の整備	6	01	03	01	観光振興事業	総合戦略 整理番号	32101
実施計画事業名						担当課・係等						
観光振興事業						商工観光課 観光経済係						

事務事業の概要 (PLAN)	事業の目標・目的(誰・何をどのような状態にするか)	主な活動内容(目標を達成するために何を行うか)
	・観光イベントの充実と広域連携による観光資源の整備により、まちの魅力を向上させるとともに効果的に情報発信することで、年間を通じ本市を訪れる観光客の増加を図る。	・茂原七夕まつり実行委員会、茂原市観光協会、茂原秋まつり運営協議会への補助金の交付。 ・観光ガイドブックや観光大使の活用によるまちの魅力発信。 ・各種関連団体への負担金の拠出。
	基本計画への寄与(基本計画の施策等の推進にどのように寄与しているか)	
	近年大量に集客する観光から個人のニーズを大切にする観光に変化しており、またコロナ禍による新しい生活様式に対応した「安全・安心」の観光へと急速に変化を求められている。個人趣向も複雑になっており、個性ある地域がこれから脚光を浴びる時代になった。新たな観光資源の開発、磨き上げを行うことで施策「観光資源の整備」に寄与する。	

投入される行政コスト (DO)	区分		令和3年度			令和4年度			令和5年度		
			計画	予算	決算	計画	予算	決算	計画	予算	決算
	事業費		千円	18,384	4,284	4,060	18,264				
	財源内訳	国補助	千円		1,000	1,000					
		県補助	千円								
		市債	千円								
		その他	千円	12	12	6	12				
		一般財源	千円	18,372	3,272	3,054	18,252				
	人工数		人	1.3							
	人件費		千円	9,832							

手 段(DO)	活動指標	単位	2年度	3年度	4年度	5年度	
・茂原市観光協会と協働し、本市の魅力を伝えるためのターゲットニーズに応えることのできる新しい観光パンフレット配架に加え、DXに対応したスマホによる観光アプリの開発を行う。 ※DX…デジタルトランスフォーメーションの略。デジタル技術により生活やビジネスが変容していくこと。	観光アプリ掲載店舗の拡大	店	目標値		50	60	
			実績値				
	観光パンフレット配架協力店舗の拡大	店	目標値	15	20	25	30
			実績値	15	44		
成 果	成果指標	単位	2年度	3年度	4年度	5年度	
・本市周辺だけではなく、広範囲に向けた効果的な情報発信による観光客誘致を図り、地域経済の活性化につなげる。	観光アプリダウンロード数	回	目標値		500	1,000	
			実績値				



令和3年度 3か年事務事業戦略シート

基本計画					予算科目					整理番号
節	テーマ	施策	展開	実施計画事業名	款	項	目	事	事業名	
3	3	1	1	観光振興事業	6	01	03	01	観光振興事業	303010101

課題抽出（CHECK）

活動内容と成果（具体的に何をしたか、どのような実績があったか）		
・観光協会との協働により、ターゲットを30代、40代の女性に絞った観光パンフレットを作成した。 ・観光協会との協働により、DXに対応したスマホによる観光アプリケーションの開発に着手した。 ・地域間連携の推進として、長生地域観光連盟のHPを作成した。 ・観光協会との協働で、クラウドファンディングを活用し伐採される一宮川の桜の木を映像として残す試みを実施した。		
必要性の評価	有効性の評価	効率性の評価
A: 必要性が高い	A: 有効性が高い	A: 効率性が高い
総合評価		
B: ある程度の成果を挙げた（目標・目的を概ね達成している）		
分析・評価（活動してどのような課題があったか）		
・これまでデータの蓄積が全くないため、どこにどういった支援策を打ち出せば効果があるかがわからずデジタル的な戦略立案が困難である。 ・効果的な情報発信の方法について検討する必要がある。		

今後の方向性（ACTION）

事業の方向性		改善・改革の手法	
B:事業の実施方法やコスト等について改善が必要		③連携・協働の推進	
課題を解決する具体的な取組(具体的にどのような考え方で、課題を解決していくのか)			
・観光客に関するデータ収集、蓄積を行い、ニーズの把握及び効果的な情報発信を行うことで、効率的に観光客の誘致を行う。 ・情報発信においては、SNSを最大限活用し、複雑化する個人趣向に対応していく。			
企画政策課の評価		評価理由	
B A:計画どおり事業継続が 適当 B:事業改善の検討が必要 C:事業の休止・廃止の検 討が必要 D:事業終了が適当		観光客の増加を図るとともに地域経済の活性化に一定の成果があると認められる。引き続き、より効果的な情報発信を調査・実施していくとともに、本市の観光振興においては新型コロナ等に影響されやすいこともあり、関係機関と連携して対策を進めていただきたい。	

令和3年度 事務事業戦略シート

基本計画					
節	テーマ	施策	展開	テーマ名	施策名
3	3	1	2	シティプロモーション	観光資源の整備
実施計画事業名					
産業観光コンテンツ等造成事業					

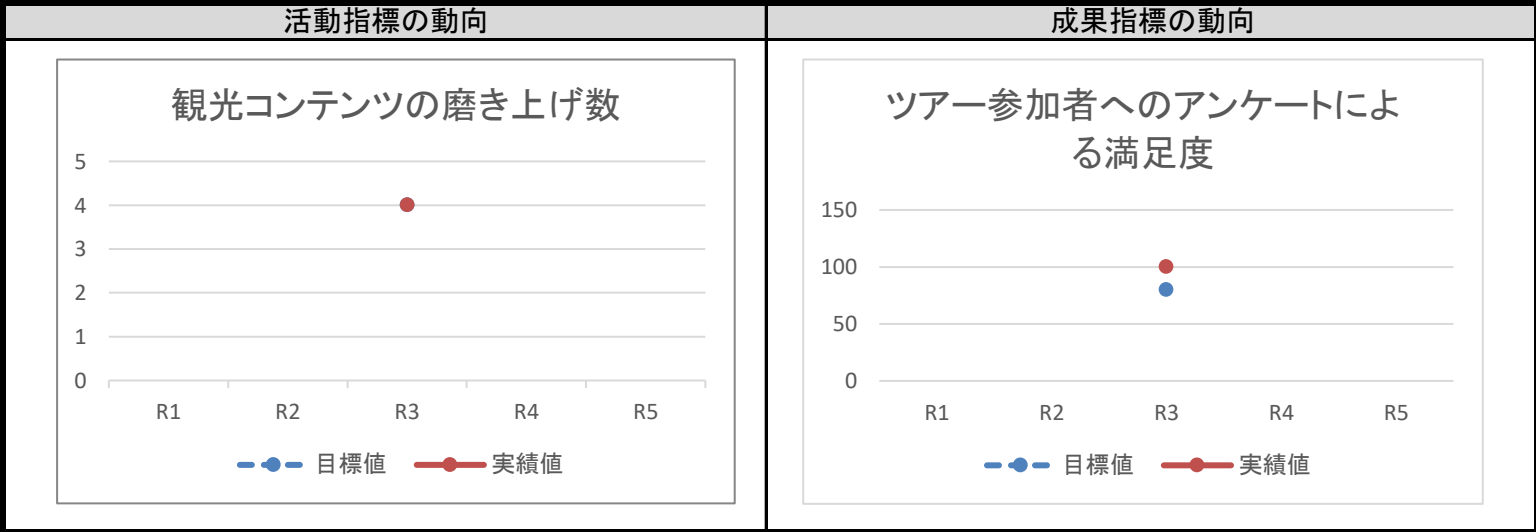
予算科目				
款	項	目	事	事業名
6	1	3	14	産業観光コンテンツ等造成事業
担当課・係等				
商工観光課 観光経済係				

実施計画整理番号	
303010201	
総合戦略 整理番号	32309

事務事業の概要（PLAN）	事業の目標・目的（誰・何をどのような状態にするか）	主な活動内容（目標を達成するために何を行うか）
	・従来から行っている市内工場見学を観光資源として磨き上げ、さらに既存のロケツーリズムとともに、ジビエをはじめとする地元グルメ開発のおもてなしや既存観光イベントに新たな魅力も追加し、地域の様々な関係者が官民一体で取り組むことにより、大人もファミリーも楽しめる茂原しかできないwithコロナに対応した新たな観光を作り出す実証事業を行う。	・観光資源磨き上げのためのセミナー・ワークショップの開催。 ・グルメやイベント等の企画、開発及び情報の発信。 ・モニターツアーの企画、開催及び情報の発信。 ・安全・安心なツアーを行うため、感染症対策を徹底する。
	基本計画への寄与（基本計画の施策等の推進にどのように寄与しているか）	
	・地域に眠る観光資源をクローズアップすることで、茂原市民のシビックプライドの醸成を図るとともに、産業を観光として磨き上げることで、茂原市への来訪者を増加させることで、施策「観光資源の整備」に寄与する。	

投入される行政コスト（DO）	区分	単位	令和3年度			令和4年度			令和5年度		
			計画	予算	決算	計画	予算	決算	計画	予算	決算
	事業費	千円		15,000	15,000						
	財源内訳	国補助	千円								
		県補助	千円								
		市債	千円								
		その他	千円		15,000	15,000					
		一般財源	千円								
	人工数	人		0.4							
	人件費	千円		3,025							

手 段(DO)	活動指標	単位	2年度	3年度	4年度	5年度
市内工場見学、地元食材を使った飲食店での食事、地元グルメ開発のおもてなし、市内ホテルでの宿泊、ロケ地見学などを内容とした新たな魅力の詰まったモニターツアーを旅行会社と共同で企画し、商品化を目指す。	観光コンテンツの磨き上げ数	件	目標値	4		
			実績値	4		
	ワークショップ等の開催件数	回	目標値	3		
			実績値	11		
成 果	成果指標	単位	2年度	3年度	4年度	5年度
大人もファミリーも楽しめる茂原しかできないwithコロナに対応した新たな観光を作り出す。	ツアー参加者へのアンケートによる満足度	%	目標値	80		
			実績値	100		



令和3年度 事務事業戦略シート

基本計画					予算科目					整理番号
節	テーマ	施策	展開	実施計画事業名	款	項	目	事	事業名	303010201
3	3	1	2	産業観光コンテンツ等造成事業	6	1	3	14	産業観光コンテンツ等造成事業	

課題抽出 (CHECK)	活動内容と成果(具体的に何をしたか、どのような実績があったか)		
	・関東天然瓦斯開発、双葉電子、日本機材の協力を得て工場見学を行い、参加者から普段見ることや体験することができない経験だったと高評価された。 ・天然ガスを使い調理されたグルメやジビエを提供、また地元グルメ開発のおもてなしを行い、参加者の満足度が高かった。 ・ロケ地ツアーを行い、茂原市内で撮影された作品の多さや、撮影場所での裏話などに興味津々であった。 ・ナイトタイムエコノミーコンテンツとして、炎舞家に出演依頼し天然ガスを使った炎舞に、参加者の評価は非常に高かった。 ・ワークショップを11回(酵母パン6回、ジビエ1回、産業観光2回、ロケ地巡り2回)開催した。		
	必要性の評価	有効性の評価	効率性の評価
	A: 必要性が高い	A: 有効性が高い	B: 効率性が認められる
	総合評価		
A: 十分な成果を挙げた(目標・目的を達成している)			
分析・評価(活動してどのような課題があったか)			
・観光資源としてはポテンシャルの高いものが多く、今後商品化の価値は十分にあると思われるが、各企業にガイドまでお願いする場合、負担が大きくサステナブルなツアーにはしにくい。 ・体験型観光は、ガイドの質に左右されるためガイド育成が必要不可欠である。			

今後の方向性 (ACTION)	事業の方向性		改善・改革の手法	
	B: 事業の実施方法やコスト等について改善が必要		②アウトソーシングの活用	
	課題を解決する具体的な取組(具体的にどのような考え方で、課題を解決していくのか)			
	・旅行会社に商品化の売り込みを行う。 ・茂原市観光協会や市民活動団体と協働し、ガイド育成を行っていく。			
	企画政策課の評価		評価理由	
A		A: 計画どおり事業継続が 適当 B: 事業改善の検討が必要 C: 事業の休止・廃止の検討が必要 D: 事業終了が適当		
		成果指標の実績からも本事業がシビックプライドの醸成、観光資源の磨き上げに資するものと認められる。引き続き、新たな観光を作り出し、本市への観光客の増加につなげるために調査・研究いただきたい。		

令和3年度 3か年事務事業戦略シート

基本計画					
節	テーマ	施策	展開	テーマ名	施策名
3	3	3	1	シティプロモーション	移住定住の促進
実施計画事業名					
シティプロモーション事業					

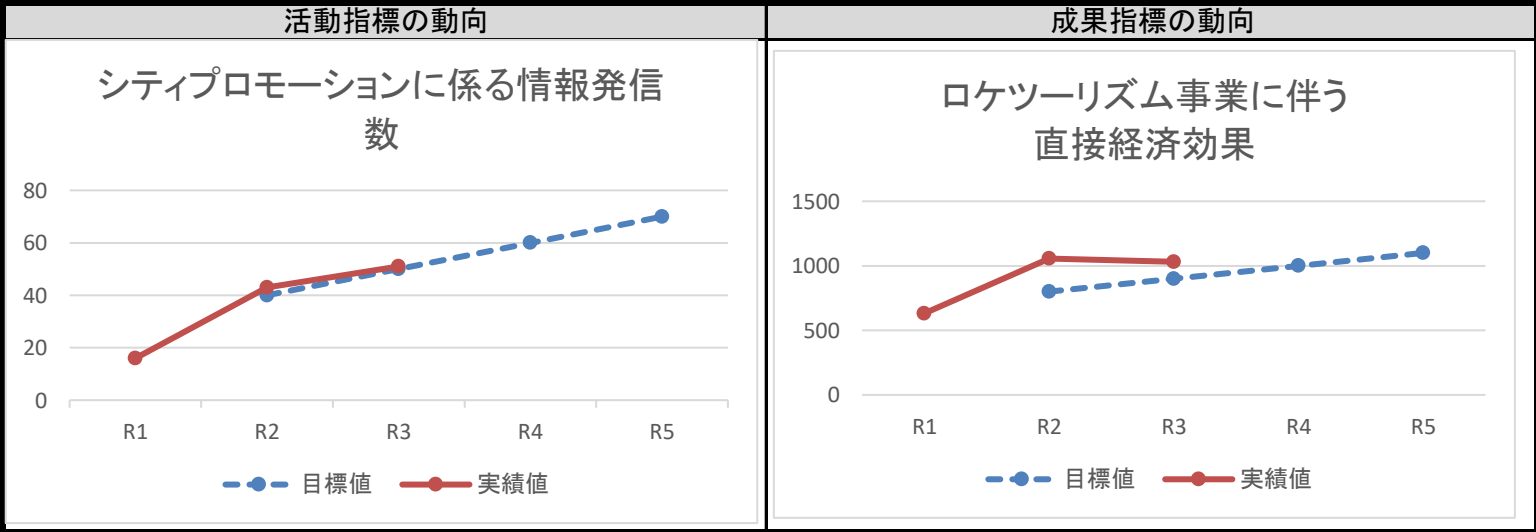
予算科目				
款	項	目	事	事業名
2	01	09	06	茂原市総合戦略推進事業
担当課・係等				
企画政策課・政策推進室				

実施計画整理番号	
303030101	
総合戦略 整理番号	32305

事務事業の概要（PLAN）	事業の目標・目的（誰・何をどのような状態にするか）	主な活動内容（目標を達成するために何を行うか）
	人口減少や高齢化が急速に進む中、地方都市の生き残りに向けた取り組みが大きく注目されている。そこで、地域のもつ魅力を戦略的にアピールをし、市の認知度や市民の地域に対する愛着度を高め、選ばれるまちとして関係人口・交流人口・定住人口の増加を図る。また、地域経済の活性化を図る。	計画年度を終了したシティプロモーションの基本方針の考え方を引き継ぎ、地域の持つ資源を再認識や活用した行政だけでなく、市民や事業者と一体となった移住・定住推進のための情報発信を行う。その方法として映画やテレビドラマ等の撮影誘致によるロケツーリズムを通じたまちづくりを推進する。
	基本計画への寄与（基本計画の施策等の推進にどのように寄与しているか）	
	様々な市民や事業者の参画を得ながらロケツーリズムを通じたまちづくりを推進し、茂原ブランドの浸透・共有と地域情報流通の促進を相互補完的に実施することで、施策「移住定住の促進」に寄与する。	

投入される行政コスト（DO）	区分		令和3年度			令和4年度			令和5年度		
			計画	予算	決算	計画	予算	決算	計画	予算	決算
	事業費		千円	9,181	9,181	9,126	9,181				
	財源内訳	国補助	千円	4,500	4,500	4,500	4,500				
		県補助	千円								
		市債	千円								
		その他	千円								
		一般財源	千円	4,681	4,681	4,626	4,681				
	人工数		人	1.6							
	人件費		千円	12,101							

手 段(DO)	活動指標	単位	2年度	3年度	4年度	5年度	
計画年度を終了した茂原市シティプロモーション基本方針の考え方を引き継ぎ、市民や事業者と一体となった移住・定住促進のための施策を行う。	シティプロモーションに係る情報発信数	人	目標値	40	50	60	70
			実績値	43	51		
			目標値				
			実績値				
成 果	成果指標	単位	2年度	3年度	4年度	5年度	
地域の持つ魅力を戦略的にアピールし、市の認知度や市民の地域に対する愛着度を高め、選ばれるまちとして関係人口・交流人口・定住人口の増加、地域経済の活性化を図る。	ロケツーリズム事業に伴う直接経済効果	万円	目標値	800	900	1,000	1,100
			実績値	1,056	1,031		



令和3年度 3か年事務事業戦略シート

基本計画					予算科目					整理番号
節	テーマ	施策	展開	実施計画事業名	款	項	目	事	事業名	
3	3	3	1	シティプロモーション事業	2	01	09	06	茂原市総合戦略推進事業	303030101

課題抽出 (CHECK)

活動内容と成果(具体的に何をしたか、どのような実績があったか)		
・千葉もばらロケーションサービスセミナー、シンポジウムを開催し、オンライン参加者等も含め、約150人の参加があった。 ・商工観光課で行った国土交通省観光庁の実証事業「もばらの“千産千消”エネルギー＆世界に誇る産業観光コンテンツ造成事業」においてオンラインロケ地ツアーを開催し、約40名の参加があった。 ・ロケツーリズム事業については、撮影問合せ件数約1,000件、撮影決定件数150件となり、宿泊やロケ弁当など、市内で消費された直接経済効果は約3,000万円となった。		
必要性の評価	有効性の評価	効率性の評価
A: 必要性が高い	A: 有効性が高い	A: 効率性が高い
総合評価		
A: 十分な成果を挙げた(目標・目的を達成している)		
分析・評価(活動してどのような課題があったか)		
ロケツーリズム事業の推進により、一部ではあるが地域経済の活性化が図られ、「ロケのまち」としての茂原ブランドの浸透に向けて事業が進捗している。今後は市民と事業者との連携を深め、茂原市の魅力を情報発信してくれる人材を育成することに力を入れていく必要がある。		

今後の方向性（ACTION）

事業の方向性		改善・改革の手法	
A:計画どおり事業を進めることが適当		⑤更なる事業の推進	
課題を解決する具体的な取組(具体的にどのような考え方で、課題を解決していくのか)			
ロケツーリズム事業の推進により、地域経済の活性化が図られ、茂原市のブランドの浸透に向けて事業が進捗している。引き続き、ロケツーリズム事業を推進することに加え、情報発信に関するセミナーの開催などを通じ、茂原市の情報発信に関するキーパーソンを育成していく。			
企画政策課の評価		評価理由	
A	A:計画どおり事業継続が適当 B:事業改善の検討が必要 C:事業の休止・廃止の検討が必要 D:事業終了が適当	本事業により市の魅力を発信することは、市の認知度向上に一定の成果を挙げ、成果指標の達成状況からも地域経済の活性化につながっていると認められる。引き続き、市民の市に対する愛着度を高めるとともに関係人口の増加に向けて努めていただきたい。	

令和3年度 3か年事務事業戦略シート

基本計画					
節	テーマ	施策	展開	テーマ名	施策名
3	3	1	1	シティプロモーション	観光資源の整備
実施計画事業名					
観光振興事業					

予算科目					
款	項	目	事	事業名	
6	01	03	2	マスコットキャラクターPR事業	
担当課・係等					
商工観光課 観光経済係					

実施計画整理番号	
303010101	
総合戦略 整理番号	32101

事務事業の概要 (PLAN)	事業の目標・目的(誰・何をどのような状態にするか)	主な活動内容(目標を達成するために何を行うか)
	マスコットキャラクター「モバリん」を活用し、本市のPR活動を実施することで、地域住民の郷土愛の醸成と域外での知名度を向上させ、地域振興を図る。	・キャラクターグッズの販売により子どもたちへの浸透を図る。 ・本市の認知向上のためイベントに参加する。 ・着ぐるみの利用促進を図る。
	基本計画への寄与(基本計画の施策等の推進にどのように寄与しているか)	
	マスコットキャラクター特有のユルさを利用することで、堅いイメージのある歴史的・文化的観光資源等に対するイメージを変えるなど、今までのターゲット層にとらわれず、本市の魅力をPRすることで、施策「観光資源の整備」に寄与する。	

投入される行政コスト (DO)	区分		令和3年度			令和4年度			令和5年度		
		単位	計画	予算	決算	計画	予算	決算	計画	予算	決算
	事業費		千円	521	521	305	521				
	財源内訳	国補助	千円								
		県補助	千円								
		市債	千円								
		その他	千円	45	45	106	45				
		一般財源	千円	476	476	199	476				
	人工数		人	0.4							
	人件費		千円	3,025							

手 段(DO)	活動指標	単位	2年度	3年度	4年度	5年度
・一般向けモバリんグッズの開発。 ・堅いイメージのある観光資源へ積極的なモバリんの活用。 ・イベントへの積極的な参加。	モバリんグッズの開発	種類	目標値 1	1	1	1
			実績値 1	1		
	イベントへの出演	回	目標値 6	6	6	6
			実績値 -	-		
成 果	成果指標	単位	2年度	3年度	4年度	5年度
・茂原市の認知向上につながり、歴史・文化に対するイメージを変えることで新たな観光資源の発掘と、シビックプライドの醸成を図る。			目標値			
			実績値			

活動指標の動向	成果指標の動向																		
モバリんイベント出演回数 <table><caption>モバリんイベント出演回数</caption><tr><th>年度</th><th>目標値</th><th>実績値</th></tr><tr><td>R1</td><td>6</td><td>6</td></tr><tr><td>R2</td><td>6</td><td>0</td></tr><tr><td>R3</td><td>6</td><td>0</td></tr><tr><td>R4</td><td>6</td><td>0</td></tr><tr><td>R5</td><td>6</td><td>0</td></tr></table>	年度	目標値	実績値	R1	6	6	R2	6	0	R3	6	0	R4	6	0	R5	6	0	
年度	目標値	実績値																	
R1	6	6																	
R2	6	0																	
R3	6	0																	
R4	6	0																	
R5	6	0																	

令和3年度 3か年事務事業戦略シート

基本計画					予算科目					整理番号
節	テーマ	施策	展開	実施計画事業名	款	項	目	事	事業名	
3	3	1	1	観光振興事業	6	01	03	2	マスコットキャラクターPR事業	303010101

課題抽出（CHECK）

活動内容と成果（具体的に何をしたか、どのような実績があったか）		
・JR茂原駅が主催する「長生郡市×茂原駅マスコットキャラクター階段アート」完成披露式典に参加し、地域振興に貢献した。 ・モバリンデザインを24種追加。茂原市施行70周年記念デザインなど、茂原市の認知度向上に貢献した。 ・市内保育園、幼稚園、小学校、市民活動団体が行うイベントにモバリン着ぐるみを貸し出し、シビックプライドの醸成につながった。		
必要性の評価	有効性の評価	効率性の評価
A: 必要性が高い	B: 有効性が認められる	B: 効率性が認められる
総合評価		
B: ある程度の成果を挙げた（目標・目的を概ね達成している）		
分析・評価（活動してどのような課題があったか）		
・モバリンデザインは既存のデザインから使用する事しかできず、自由度が低い。 ・イベント出演は、感染症などの外的要因に左右され、活動の機会が制限される。 ・モバリングッズが低年齢層向けのものしかなく、グッズ販売によるPRに限界がある。		

今後の方向性（ACTION）

事業の方向性		改善・改革の手法	
B:事業の実施方法やコスト等について改善が必要		⑥その他	
課題を解決する具体的な取組(具体的にどのような考え方で、課題を解決していくのか)			
・モバリンデザインは要綱に反しない範囲で、使用者が自由にデザイン作製してもらい、商工観光課で使用許可を出すように変更し、利用機会の増加を図る。 ・モバリンの出演機会が社会的要因によって制限される場合は、ユーチューブ等でモバリンを使った企画を配信するなど、新たな認知度向上方法を模索する。 ・モバリングッズの一般向け商品の開発を進め、幅広い年代に受け入れられるよう努める。			
企画政策課の評価		評価理由	
B A:計画どおり事業継続が 適当 B:事業改善の検討が必要 C:事業の休止・廃止の検 討が必要 D:事業終了が適当		地域住民の郷土愛の醸成と本市の知名度向上に一定の成果があったと認められる。一方で、モバリンデザインの使用等、より効率的で活用しやすい方法を今後も進めていただき、更なる本市の知名度向上につなげていただきたい。	

令和3年度 3か年事務事業戦略シート

基本計画					
節	テーマ	施策	展開	テーマ名	施策名
3	3	3	2	シティプロモーション	移住定住の促進
実施計画事業名					
三世代同居等支援事業					

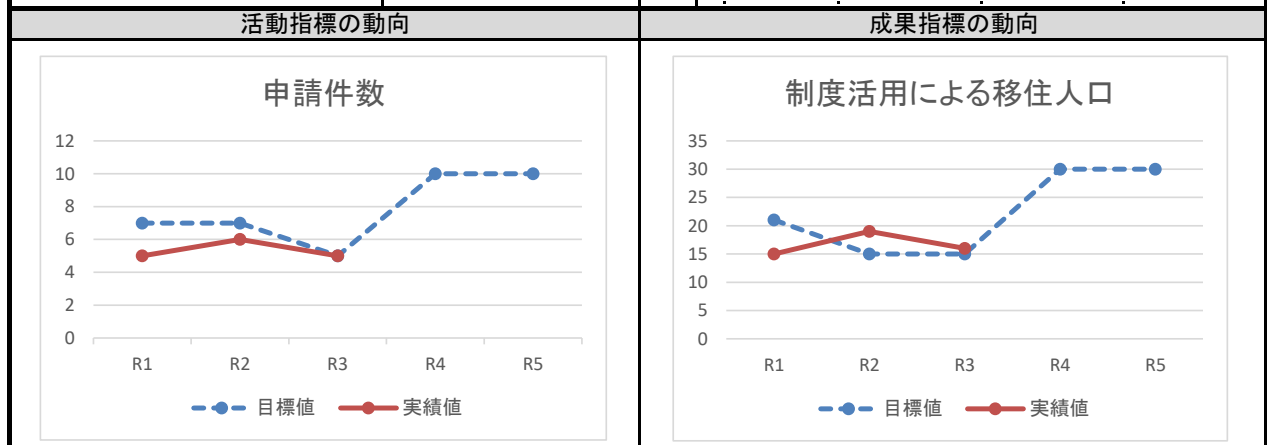
予算科目				
款	項	目	事	事業名
7	04	01	03	三世代同居等支援事業
担当課・係等				
建築課住宅政策係				

実施計画整理番号	
303030201	
総合戦略 整理番号	31101

事務事業の概要 (PLAN)	事業の目標・目的(誰・何をどのような状態にするか)	主な活動内容(目標を達成するために何を行うか)
	親世帯または子世帯の一方が転入し、三世代(親・子・孫)で同居・近居をする世帯に住宅取得等の費用の一部を補助することにより、生活基盤の安定による移住・定住を促進する。また、助成の上乗せ支援による地元企業の利用促進も図る。	・住宅取得等の費用の1/2を助成する。 ただし、助成額の上限は次のとおり。 新築・購入・増築は上限30万円(市内業者が行う場合は上限50万円) ・広報、市公式ウェブサイト等による制度周知及び関係団体・住宅展示場等への周知を実施する。
	基本計画への寄与(基本計画の施策等の推進にどのように寄与しているか)	
	三世代で同居等をする世帯に住宅の取得等の費用を一部補助することにより、施策「移住定住の促進」に寄与する。	

投入される行政コスト(DO)	区分	単位	令和3年度			令和4年度			令和5年度		
			計画	予算	決算	計画	予算	決算	計画	予算	決算
	事業費	千円	5,000	5,000	4,600	5,000					
財源内訳	国補助	千円	2,250	2,250	2,070	2,250					
	県補助	千円									
	市債	千円									
	その他	千円									
	一般財源	千円	2,750	2,750	2,530	2,750					
	人工数	人	0.4								
	人件費	千円	3,025								

手 段(DO)	活動指標	単位	2年度	3年度	4年度	5年度
市外に住んでいる方に対し、補助金の情報が伝わるように、住宅展示場や市内の住宅メーカー等への周知を図り、予定申請件数に達するよう努める。	申請件数	件	目標値 7	5	10	10
			実績値 6	5		
			目標値			
			実績値			
成 果	成果指標	単位	2年度	3年度	4年度	5年度
移住人口の増加につなげる(一世帯3人換算)	制度活用による移住人口	人	目標値 21	15	30	30
			実績値 19	16		



令和3年度 3か年事務事業戦略シート

基本計画					予算科目					整理番号
節	テーマ	施策	展開	実施計画事業名	款	項	目	事	事業名	303030201
3	3	3	2	三世代同居等支援事業	7	04	01	03	三世代同居等支援事業	

課題抽出 (CHECK)	活動内容と成果(具体的に何をしたか、どのような実績があったか)		
	・申請件数 5件 ・制度活用による移住人口 16人 ・広報・市公式ウェブサイト等による制度周知を実施した。		
	必要性の評価	有効性の評価	効率性の評価
	B: 必要性が認められる	B: 有効性が認められる	C: 効率性について検討が必要である
	総合評価		
	B: ある程度の成果を挙げた(目標・目的を概ね達成している)		
	分析・評価(活動してどのような課題があったか)		
	・申請受付開始して間もなく予定申請件数に達したため、制度の周知が行き届いていたものと考えられる。 ・令和3年度の申請状況を鑑み、事業費の拡充や補助要件及び補助金額の検討が必要である。		

今後の方向性 (ACTION)	事業の方向性		改善・改革の手法	
	B: 事業の実施方法やコスト等について改善が必要		①業務の整理・統合・集約化	
	課題を解決する具体的な取組(具体的にどのような考え方で、課題を解決していくのか)			
	・より多くの方が利用できるよう補助要件や補助金額の改正を行いつつ、事業費の拡大を試みる。			
	企画政策課の評価		評価理由	
	B	A: 計画どおり事業継続が 適当 B: 事業改善の検討が必要 C: 事業の休止・廃止の検討が必要 D: 事業終了が適当	移住・定住の促進に資する事業ではある一方、事業による成果かどうか判断が困難である。事業の利用者に対して調査等により効果検証を行い、より効果的な手法や周知方法について検討いただきたい。	

令和3年度 3か年事務事業戦略シート

基本計画					
節	テーマ	施策	展開	テーマ名	施策名
3	4	1	2	雇用	雇用の充実
実施計画事業名					
労政対策事業					

予算科目				
款	項	目	事	事業名
6	01	01	02	労政対策事業
担当課・係等				
商工観光課 観光経済係				

実施計画整理番号	
304010201	
総合戦略 整理番号	

事務事業の概要 (PLAN)	事業の目標・目的(誰・何をどのような状態にするか)	主な活動内容(目標を達成するために何を行うか)
	・長生茂原地区に勤務または居住する労働者とその家族を対象に労働者福祉活動の総合的推進によって、地域福祉の発展と福祉社会の建設を目指すとともに、地域労働者の連帯、強化発展に寄与することを目的とする。	・長生茂原地区労働者福祉協議会への補助金交付。 ・労働金庫へ勤労者厚生資金貸付のための預託金拠出。
	基本計画への寄与(基本計画の施策等の推進にどのように寄与しているか)	
	・労福協の開催するレクリエーションや文化活動により、茂原市に居住または勤務する労働者や家族の福祉増進が図られ、ひいては施策「雇用の充実」に寄与する。	

投入される行政コスト (DO)	区分		令和3年度			令和4年度			令和5年度		
			計画	予算	決算	計画	予算	決算	計画	予算	決算
	事業費		千円	10,148	10,148	10,148	148				
	財源内訳	国補助	千円								
		県補助	千円								
		市債	千円								
		その他	千円	10,000	10,000	10,000					
		一般財源	千円	148	148	148	148				
	人工数		人	0.4							
	人件費		千円	3,025							

手 段(DO)	活動指標	単位	2年度	3年度	4年度	5年度
勤労者及び家族の福祉増進につながるレクリエーションや文化活動のための補助金を交付する。			目標値			
			実績値			
			目標値			
			実績値			
成 果	成果指標	単位	2年度	3年度	4年度	5年度
勤労者の経済的・社会的・文化的満足度の向上			目標値			
			実績値			
活動指標の動向			成果指標の動向			

令和3年度 3か年事務事業戦略シート

基本計画					予算科目					整理番号
節	テーマ	施策	展開	実施計画事業名	款	項	目	事	事業名	
3	4	1	2	労政対策事業	6	01	01	02	労政対策事業	304010201

課題抽出 (CHECK)	活動内容と成果(具体的に何をしたか、どのような実績があったか)		
	・長生茂原地区労働者福祉協議会でとして長生郡市全小中学校37校に除菌ウェットシートを配布した。 ・労働者福祉協議会でカラーコーディネイトセミナーを企画し、10人の参加があった。 ・中央労働金庫で267件、927,850千円の厚生資金の利用があった。		
	必要性の評価	有効性の評価	効率性の評価
	B: 必要性が認められる	B: 有効性が認められる	B: 効率性が認められる
	総合評価		
	B: ある程度の成果を挙げた(目標・目的を概ね達成している)		
	分析・評価(活動してどのような課題があったか)		
	・長生茂原地区労働者福祉協議会の活動内容がどこまで認知されているのか不明である。		

今後の方向性 (ACTION)	事業の方向性	改善・改革の手法
	B: 事業の実施方法やコスト等について改善が必要	⑤更なる事業の推進
	課題を解決する具体的な取組(具体的にどのような考え方で、課題を解決していくのか)	
	・市内に勤務または居住する労働者に広報活動を行うよう、長生茂原地区労働者福祉協議会に要望していく。	
	企画政策課の評価	評価理由
	B A: 計画どおり事業継続が 適当 B: 事業改善の検討が必要 C: 事業の休止・廃止の検 討が必要 D: 事業終了が適当	事業の利用状況から市内労働者やその家族の福祉増進に一定の成果を挙げていると認められる一方、事業について労働者に浸透しているのかは課題と思われる。より多くの労働者に情報が届くよう関係機関と更なる連携を図っていただきたい。